

第二十四回帝國議會
衆議院
監獄法案外四件委員(委員中特別調查委員)

會議錄(速記)第四回

會議

明治四十一年三月五日午後一時十九分開議

出席委員左ノ如シ

谷澤 龍藏君

磯部

立川

雲平君

宮古 啓三郎君

古賀

花井

卓藏君

望月 長夫君

小 河

源一君

阿部 德三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 松田 正久君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 河村讓三郎君

司法省監獄局長 小山 溫君

司法省參事官 齋藤十一郎君

司法省參事官 豐島 直通君

監獄事務官 小 河 滋次郎君

司法省參事官 谷野 格君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

監獄法案

○委員長(谷澤龍藏君) ツレデハ開キマス——昨日ノ續キヲ開キマスガ、監獄法……

○花井卓藏君 監獄法ノ施行ノ期日ヲ問フノデスガ、監獄法ハ實体上ノ刑法デアリマスカラ、無論刑法ト並ビ行フベキ筈デアラウト存ジマスガ、若シ刑法ガ本年ノ四月若クハ七月ニ於テ行ハレト云フ場合ニハ、監獄法ハ根本法並ニツレニ附隨スル施行細則ト共ニ、竝ニ機關ノ設備ト共ニ、同時ニ行ハレト云フ御計畫ガ熟シテ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 此法案ニアリマス通り、刑法施行ノ日ヨリ施行スルコトニナツテ居リマスカラ、刑法ノ施行ト云フ方ガ監獄法ガ行ハレルヤウニナラナレバ、詰リ刑法ノ期日ガ、定メラレナイ、斯ウ云フ關係ニナルデアラウ、サウシテ此刑法ノ施行ガ早クモ七月頃デアラウト云フハ、無論裁判所ノ支部トカ云フコトノ關係ガアリマスガ、重モニ監獄ノ設備ニ關係アルコトデアル、七月マデニハ無論準備ハ整フ積リデアリマス

○花井卓藏君 問ノ趣意ハサウデハナイ、監獄法ノ中ニ命令ニ委任セラレタル條項ガ幾ツモアル、又性質上施行細則ニ於テ規定スベキモノガ幾ツモアル、ツレ等ノモノ、編纂ハ既ニ成ツテ居ルノデアルカ、成ツテ居ラストスルナラバ、刑法ト並ビ行ハレル時期マデニ、必ズ御編成ニナルト云フ御趣意デアルカト云フコトガ、一ツ、今一ツハ刑法改正ニ伴フ監獄法ノ改正デアルカラ、刑法ノ要求ヲ充タスベキ機關ノ設備モ入用デアル、機關ト云フハ語弊ガアルカ知ラヌガ、ヤハリ機關ハ機關デアリマスガ、例ヘバ勞役場ト云フヤウナモノノ設備ハ、永久的デアリマスマイガ、臨時的ニハ如何様ニ、ドノ位ノ建物ニ變ヘルカト云フ御計畫ハ熟シテ居ルカト云フノデ、始メ政府委員ヨリ御答ニナツタコトハ問ハナイデモ分ツテ居ルコトデアリマス

○政府委員(小山溫君) 第一ノ御問ニ對シテハ命令ニ讓テアリマス、施行ニ付テハ既ニ幾分ノ取調ヲ致シマシテ未定案デハゴザイマスガ、既ニ案モ出來テ居リマスカラ、是ハ愈々刑法施行法、監獄法ガ通過致シマシタ曉ニハ、僅ノ時間ヲ以テ準備スルコトガ出來ルト思ヒマス、建物ノ方——形ノアリマス方ノ設備モ、長日月ヲ要セズシテ、整フ積リデアリマス

○花井卓藏君 現行ノ監獄則ハ、今日ヨリ見テ法律ナリト解シテ居ラル、デアリマセウカ、命令ナリト解シテ居ラル、ノデアリマセウカ、併セテ監獄法本來ノ性質トシテハ、法律デアルベキ筈ノモノト堅ク御認メニナツテ居リマセウカ、或ハ命令ニ屬スベキモノト云フ御考デアラウカ、併セテ各國ノ立法例ニハ法律ニナツテ居ルノカ多イデアリマセウカ、命令ニナツテ居ルノカ多イデアリマセウカ、併セテ若シ各國ノ立法例ノ御調査ガ就イテ居リマシタナラバ、其國ヲ知ラシテ實ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 現行ノ監獄則ハ實質ニ於テ重モニ法律デアルト今日認メラレテ居ルノデアリマス、併シ其中ニ——監獄則ノ中ニハ、命令事項モアルト認メマス、各國ノ監獄則ニ付テハ、小河政府委員ヨリ御答致シマス

○望月長夫君 是ハ私ガ或ハ見落シテ居ルノカモ知レマセウカ、且此質問ハ刑法施行法ニ付テ質問スベキ事項ガ、監獄則ニ付テ質問スベキ事項カ、迷ヒマスガ、要スルニ新刑法ノ第二十一條ニ「未決拘留ノ日數ハ其全部又ハ一部ヲ本刑ニ算入スルコトヲ得」トアリマスガ、是ハ何時何人ガ此決定ヲ爲スノデアリマスカ、即チ「全部又ハ一部ノ決定」……或ハ裁判所ガ判決ト共ニ言渡スベキモノデアルト云フコトガ、性質上極マルカト云ウテ見ルト、刑法第二章ハ唯刑ノ規定デアツテ、此規定ハ必ズ執行スルモノハ、裁判官デアルヤウデアアル、訴訟法ニモ今度ノ改正ニモツレガアルヤウニ見エマセウカ、ツレナラバ監獄ガ之ヲ極メルカト云フト、サウ云フ規定ハアリマセウカ、是ハ誰ガ何時之ヲ極メルノデアルカ、之ヲ一ツ伺フテ置キタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) チョット私カラ先刻花井君ノ第二ノ御質問ニ付テ、各國ノ立法例ニ付テ御答致シマス、私共ノ取調ベマシタコロニ據リマス、各國イロ／＼ニナツテ居リマスガ、監獄法ヲ法律ヲ以テ公布致シテ居リマス國ハ、現在ノトコロデハ英吉利、芬蘭及和蘭、此三箇國デゴザイマス、其他ノ國ニ於キマシテハ、或ハ勅令——命令ヲ發シテ居ル處ガ多イデアリマス、獨逸ノ如キハ千八百七十一年ニ現行ノ刑法ヲ制定致シマシテ、マダ監獄法ノ規定ガナカッタノデアリマスガ、其當時議會カラ建議ヲスル者ガアリマシテ、刑法ヲ改正シテ適用スル以テ生ハ、同時ニ執行ニ關スル監獄法モ法律ヲ以テ之ヲ規定シナケレバナラヌト云フ請願ガアリマシテ、遂ニ議會ニ於テ其請願ヲ認メテ、建議ヲ致シタ結果、政府ニ於キマシテハ監獄法調査委員ヲ作リマシテ、而シテ千八百七十六年ニ至ツテ、監獄法ト云フ法律案ガ立派ナモノガ出來タノデアリマス、其法案ヲ政府ガ議會ニ提出致シタノデアリマスケレドモ、不幸ニシテ此法ヲ各聯邦ガ實行スルトキニナリマス、監獄ノ改築ニ要スベキ費用ガ約千萬元カリノ費用ヲ要スル

ト云フコトデ、其費用ニ國庫ガ堪ヘナイト云フコトヲ以テ、遂ニ其法律ヲ實施スルニ至ラヌデ、今日ニ來テ居ルノデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ、ヤハリ法案ガ法律實施ノ力ヲ以テ今日マデ來テ居ルノデアリマス、其後毎議會ニハ、是非トモ監獄法ヲ法律トシテ作ラナケレバナラヌト云フ建議ガ出テ居ルノデ、最近ニモ二三回ハ出テ居ルノデアリマス、併シ其缺點ヲ補ヒマスガタメニ、聯邦議會ニ於テ監獄法ノ標準ト云フモノヲ作テアル、殆ド法律ノ刑デ、聯邦議會準則ト云フモノヲ、千八百八十五年ニ作テ、其準則ガ殆ド法律ト同一ノモノニナツテ、今日行ハレテ居ルノデアルガ、マダ千八百七十六年ノ議會ニ提出シタヤウナ、完全ナル監獄法ノ實施ヲ見ルニ至ラデハ居リマセヌ、チヨット各國ノ立法ノ概要ヲ述ベマスト斯ノ如クデアリマス

○花井卓藏君 監獄法ノ如キモノハ、法律ヲ規定シテシマシタコトデ、勿論違法デハナイト思ヒマスガ、又之ヲ命令デ規定シタコトデ別段違法デモナイト思フノデスガ、法律事項トシテモ、命令事項トシテモ成ル可ク一ツノ規定ノ下デ萬事ノ運用ノツグヤウニスル立法方法ヲ執ル方ガ、甚ダ私ハ便利デアラウト思フ、監獄法ナル根本法ガアリ、而シテ施行細則ナル手續法ガアル、又時々刻々ニ公布シテ來ル大命令小命令ガアル、而シテ時ニ司法省ノ省令ガ來ル、訓令ガ來ル、又時ニ檢事ノ執行指揮權ナドト稱シテ、檢事長檢事正ナドヨリイロ／＼ノ訓示ヲスル、實ニ繁ニ堪ヘナイト、監獄法ナルモノヲ制定スル以上ハ、監獄獨立ト云フ主義ヲ全ウシナケレバナラヌト私ハ思フデ居ルノデアリマスガ、其主義論ハ暫ク措イテ、白耳義ノ如キハ法律事項ニ屬スベキモノ命令事項ニ屬スベキモノモ、手續事項ニ屬スベキモノモ、執行指揮ニ屬スルモノモ、總テヲ纏メテ一ノ規定ノ下ニ包含シテ出來上ツテ居ル、即チ四百九十九條ヨリ成立ツテ居ル、白耳義ノ監獄則ト云フモノハ、讀シテ見ルト餘程完全デアル、ソレサヘ見レバ何デモ監獄ノ事ハ分ルト云フヤウニナツテ居ルガ、政府ガ之ヲ一律ノ下ニ規定セズシテ、根本法、手續法、其他隨時ノ手續法ト云フヤウナ方針ヲ執ラレタル根據ハ、何レニ在ラデ存スルノデスカ

○政府委員(小山溫君) 成程白耳義ノ監獄則ヲ御覽ニナレバ、官制シミタコトモゴザイマスルシ、小サイコト迄監獄ニ關スルコトハ一切ノ議論モ網羅シテ居リマスガ、詰リ是ハ前ニ構成ニナリマシタ、監獄法ノ原則カラ取ツテ來テ居ルト思ヒマスガ、兎ニ角今日提出ニナツテ居リマス監獄法ハ、主ニ立法事項ヲ規定スル、而シテ立法事項必シモ法律デナクテ宜イモノモゴザイマスルガ、ソレハ監獄ノ大原則トモ云フベキモノヲ置イテオクノデアルト云フ方法ヲ作テ居リマシテ、小サナコト、官制ニ屬スベキ事柄ハ、日本帝國ニ於キマシテハ、勿論是ハ法律ヲ規定スベキコトデナイ、ソレカラ又外ノ小サナコト、或ハ監獄ヘ入ッテ來タラバ、丈ノ高サヲ計ル、人相ヲ書クトカ云フヤウナコトハ、是ハ詰リ人違ガナイ、或ハ裁判ノ時ニ、其人間ノ異同ヲ見付ケルタメデゴザイマセウガ、サウニ云フヤウナコトニ付テハ、イロ／＼方法ガ進歩シテ參ルト變テ參ラナケレバナラヌ、其變テ參ラナケレバナラヌ事マデ、法律ニシテ置キマスルコト云フ、事ガ億劫ニナツテ參リマスカラ、ソレデ細カイ事ハヤハリ命令ニ譲リマシテ、其時々ニ變更ヲ容易クシテ置ク方ガ便利デアルト云フ考カラ、此監獄法ト云フノハ、詰リ法律事項、ソレカラ監獄ノ原則等モ俄ニ變換スルコトヲ許サナイト云フ風ノモノダケヲ規定致シマシタ

○阿部德三郎君 此監獄法ナルモノハ現今ノ……

○望月長夫君 外ノ質問ナラ私ノ質問ノ答辯ノ次ニ……

○委員長(合澤龍藏君) 今ノ望月君ノ何人ガ決定スルト云フコトノ後ニ……

○政府委員(法學博士河村讓三郎君) チヨット今取調ベテ居リマスカラ……

○望月長夫君 是ハ監獄則ヲ議シテ往ク上ニ付テ直チニ必要デアリマセヌカラ、或ハ留保サレテモ宜イコトハ宜イノデスガ、是ハ餘程ハッキリシテ置イテ貰ヒタイト思フ

○委員長(合澤龍藏君) 少シ後ニ願ヒマス——阿部君

○阿部德三郎君 此監獄法ハ、現行ノ監獄則ト對照シテ著シク違フデ居ル點ガドノ點デアルカト云フコト、ソレカラ此監獄法ハ、各國ノ監獄法ト對照シテ何カ特色ト認ムベキ點ガアルカナイカ、ト云フコトノ點ヲ一應御説明ヲ……

○政府委員(小山溫君) 少シソレデハ長クナリマスガ、宜シウゴザイマスカ

○阿部德三郎君 大體ドウカ御説明ヲ……

○政府委員(小山溫君) 要スルニ、現行監獄則ト變リマス點ガ十三廉ゴザイマスルガ、ソレハ引括メテ十三ニナリマスガ、其第一ノハ此改正刑法ニ伴フ必然ノ結果トシテ、第一條、第三條、第八條、第六十六條、第六十七條、第七十一條、第七十二條、即チ刑ノ執行方法ニ關スルコトデス、全體ノ刑法ノ執行方法ニ關シマスガ、之ヲ總役監ニ入レルトカ、禁錮監ニ入レルトカ云フコトガ、現行法ト變テ參リマシタ、ソレガ一廉、ソレカラ次ニ十八歲未滿ノ者ヲ一般ノ監獄ニ入レナイ、特設監獄ヲ設ケル、斯ウ云フコト、即チ第二條、ソレカラ其次ギ三箇條目ニハ、監獄參觀ト云フコトニ付テ、是迄ハ法律トシテハ何等ノ規定ハゴザイマセヌノデ、之ヲ規定シタ、詰リ監獄ヲ觀セ物トシナイト云フ趣意デ、監獄參觀ノ規定ヲ置イタ、ソレカラ第四ニハ、條文デ申シマスルト、第十三條、第二十條、第二十三條、第四十三條、內容デ申シマスレバ、傳染病者、重病者ニ關スル規定、極ク樞要ノ規定、盜囚々徒最後ノ規定、斯ウ云フモノニ關スル規定ガ、是ハ現行監獄則ニゴザイマセヌノヲ入レマス、ソレカラ第五ニハ拘禁方法ニ付テ現行監獄則ニハ精シイ區別ハゴザイマスルガ、サウ云フ區別ヲ止メマシテ、標準ヲ單ニ定メマシタ、短ク申シマスルトサウデゴザイマス、ソレカラ第六ニハ此作業人ノ標準ヲ設ケマシタ、ソレハ第二十六條、ソレカラ第七ニハ此監獄囚徒ノ作業ヲ致シマスル場合ニ、其作業ニ對シテ現行監獄則デハ、勞銀トシテ即チ賃錢トシテ金錢ヲ與ヘテ居リマシタノヲ、此改正監獄法デハ作業ヨリ生ズル收入ハ、總テ國庫ノ取得ト致シマシテ、サウシテ恩惠的二働イタモノニハ賞與ヲ遣ル、斯ウ云フコトニ致シマシタ、實質ニ於テハ變リマセヌガ、見方ガ違フノデアリマス、ソレデ理由ハ宜ロシウゴザイマスカ

○阿部德三郎君 ヘイ

○政府委員(小山溫君) 違フタコトコダケ——ソレカラ第八ニハ此監獄デ作業ヲ執ルタメニ、創傷ヲシタ者ニ手當ヲ致ストカ、或ハ監獄ノ勝手テ之ヲ移シマシタ場合ニ、大變ニ歸ル場所ガ遠クナリマシタ場合ニ、旅費等ヲ支給スルト云フ規定ヲ設ケマシタ、是ガ第二十八條ト七十條、ソレカラ第九ニハ醫療、重病者、妊婦、產婦、老衰者等、ニ關シテ殊ニ規定ヲ定メマシタ、ソレカラ第十二ハ接見、遮止、即チ囚人ト外間トノ規定ヲ緊縮致シマシタ、現行則ニ較ベレバ——ソレカラ第一ニハ此囚徒ノ携ヘテ入ッテ來マス

モノ、又ハ囚徒ニ對シテ差入ヲ致シマスルモノニ付テノ處置ヲ規定致シマス、是モ現行則ト違フテ居リマス、ソレカラ第十二ニハ懲罰ノ方法ヲ變ヘマシタ、是ハ五十九條乃至六十一條、ソレカラ第十二ニハ死骸ヲ解剖ニ付スルコトノ出來ヌ規定——引括メテ申上ケマス、サウ云フモノガ殆ド詰リ前ノトハ違フテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 唯今各國ノ獄則ニ比シテ、特別ニ著シイ變テ點ハ何處デアリカト云フ御尋デゴザイマス、サウ格別ニ變テ點ハアリマセヌガ、先ヅ各國ノ獄則ニ比較ヲ致シテ見マシテ、是ハ獨リ改正監獄法ノミナラズデアリマシテ、我監獄制度ノ上ニ特殊ガアツテ、即チ他ノ監獄法デアハソレヲ襲用致シテ居ルデアリマスガ、其規定ハ先ヅ此第一ニ善イ特殊ト惡ルイ特殊ト兩方アルデアリマスガ、先ヅ第二十二條ニ水火風震ガ非常ニ急激ニ起ツタ場合ニ於キマシテ、已ムラ得ズ一時囚徒ヲ解放スルコト云フ規定ガアルノデ、此規定ハ何處ノ國ニモ無イ特別ノ規定デアリマシテ、而シテ日本ニハ昔カラアツタ規定デアリマス、ソレカラ第二十五條ニ父母ノ喪デアリマシテ即チ喪ノ——死シタト云フ訃音ニ接シタ場合ニ於キマシテ、之ニ追吊ノ意ヲ表セシムルガタメニ、三日間服セシムルコト云フコトデアリマスガ、斯ノ如キ規定モ是ハ日本固有ノ特色デアリマシテ何處ニモナインデゴザイマス、此規定ハ嘗テ萬國監獄會議ナドニ於キマシテモ、日本ノ國粹ヲ現ハシテ居ルトコロノ萬國ニ比類ノナイ結構ナル獄制ヲ日本ノ監獄ニ見ルト云フヤウナコトデ、非常ニ稱贊ヲ博シタ、是モ固有ノ規定デアリマス、ソレカラ此第二十八條ニ今他ノ政府委員カラ變テ點トシテ御答致シタデアリマスガ、仕事ヲ致シマシタメ、或ハ疾病ニ罹リ、若クハ創傷ヲ受ケマシタ場合ニ、手當ヲ給與スル此規定ハ是ハ日本固有デアリマセヌ、獨逸デアハ之ヲ行フテ居リマスガ、其他ノ各國ニ於キマシテハ、其必要ヲ認メテ居ルニモ拘ハラズ、マダ今日ニ至ルマデ獄制ノ上ニ實行ヲ見テ居リマセヌ規定デ、是モ監獄法ノ上ニ現ハレテ居ル條件トシテ、日本ノ特色ト申シテモ宜カラウト思フデアリマス、尙其外ノ事ノ細カイ事ニ至リマシテ、多少特色ノ點モアリマスケレドモ、先ヅ監獄法ノ上ニ現ハレテ居ル特點トシテ、各國ト違フタコロハ此位ノ數件ニ過ギナカラウト思ウテ居ルデアリマス

○花井卓藏君 唯今ノ御質問ト同シヤウナ趣意デアリマスガ、監獄法中ニ性質ノ全ク異ナリタル、而シテ刑法ノ意義トシテモ全ク其趣ヲ同シウセザル勞役場ノ規定ヲ設ケテアルナドハ、善イ方ノ特色デアリカ惡イ方ノ特色デスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 即チ先刻私が花井君ノ御尋ニ善イ方ノ特色ト惡イ方ノ特色トアルト申シタ、其惡ルイ方ノ特色ガ、勞役場ガ監獄署ニ施設セラレテアル點デアラウト考ヘマスガ、是ハ實際已ムラ得ナイ點カラ現ハレタデアツテ、甚ダ不十分ナリトシテアルデアリマス

○花井卓藏君 追テハ勞役場法ヲ設ケラレテ、監獄法ヨリハ割リ去ラレル政府ノ御趣意デゴザイマセウカ、司法大臣ノ御意見ハ如何デアリマセウ、サウ致シマセヌト折角立派ナル刑法ヲ如何ニモ粗末ナル取扱ヲシタヤウニ相成、テ相濟マヌト存ジマス

○司法大臣(松田正久君) 今花井君ノ御問デアリマスガ、此監獄ニ於テ斯ク定メデアリマスノハ、全ク今日ノ現狀ニ適用スルダケノ考ヨリシテ、斯ク致シタ譯デアリマシテ、將來永遠ニ必ジモ斯ク致サナケレバナラヌト云フ趣意デアナイノデス、將來監獄上諸般

ノ經營ヲ完ウスルコトガ出來得ル場合ニハ、如何ヤウナリトモ此改正ハ致ス積リニシテ居リマス

○花井卓藏君 各條ニ入ラヌ前、ヤハリ大體ノ質問トシテ御尋ヲ致シマスガ、現在收容セラレテ居ル不長少年ノコトデアル、毎度出スヤウデスガ、此現在收容セラレテ居ル不長少年、即チ懲治場ニ收容サル、不長少年ハ新刑法ノ面目上監獄ニ置キタグナイノデス、併ナガラ實際設備ガ完全デナイ、感化法ガ完全デナイカラ、我慢シテ暫ク預テ居ルヤウニ相成テ居ルデアリマセウガ、事實上ノ問題トシテ、懲治場ノ現在ノ有様ト云フモノハ、非常ニ不公平ガアルト私ハ思フ、例ヘバ小田原ノ分監ニ行テ居ル懲治人ヲ見ルト云フト、完クドウモ立派ナル官立學校ニ這入ッテ、完全ナル教育ヲ受ケテ、此處テ強制教育ヲ施サレタナラバ、眞人人間ニナレルダラウト思フ程ニ愉快ニ感ゼラル、然ルニ去ッテ地方ニ行ッテ見ルト、未成年ノ懲役人ト同ジ取扱ヲ受ケテ居ル、晝間夜間同ジ監房ニ未成年囚ト一緒ニ寢食シテ居ルデアリマスガ、是ハ暫時ノ間ノ預リ物ニ違ヒナカラウガ、サリナガラ暫時ト雖モ懲治人ノ取扱ヲ區々ニセラル、ハ面白クアリマセヌ、非常ニ辛モアレバ不幸モアル取扱ヲシテハ面白クナイ、折角ノ強制教育ノ目的ハ達セラヌヤウニ考ヘラレル、是等ニ就テハヤハリ從前ノ方針ヲ持續セララル、ノデアリマスガ、監房ヲ明確ニ分離スルハ勿論、門札モ別ニ掛ケテ、出入モ別ニセラル、御計畫ガアルノデゴザイマセウカ、如何デスカ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 現行ノ監獄則ノ下ニ於キマシテモ、懲治人ニ付キマシテハ近來非常ニ注意ヲ加ヘマシテ、各監獄ニ散亂シテ居リマスル懲治人ヲ、成ルベク一箇所ニ集メタイ考デアリマシテ、或ハ小田原トカ、或ハ東京附近ノ川越トカ、熊谷等ニ於テ其邊ニ就テ適當ナル方法ヲ攻究シツ、アリマス、此方針ハ縱令將來ニ於テ監獄内カラ懲治場ヲ除クコト云フコトニナリマシテモ、當分預テ居ル以上ハヤハリ是迄ノ方針ヲ繼續シテ、努メテ懲治人ニ對シテハ、教育的相當ノ處置ヲナス考デアリマス、未ダ今日ノトコロデ千二百人内外ノ懲治人が居リマシテ、段々減ルコトハ減リマスケレドモ、成ルベク相當設備ノアル場所ニ集メテ、懲治教育ノ適當ナル取扱ヲスル方針デアリマ

○花井卓藏君 政府委員ニ改メテ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、私ハ可ナリ多クノ監獄ヲ觀察シタ一人デアリマスガ、懲治人ノ事ハ、刑事法上一番大切ナル問題デアルト思ヒマシテ、氣ヲ付ケテ見テ歩イタデアリマス、大體ノ所ニ就テ多少ノ缺點ハアリマスケレドモ、從前ニ比シテ今日ハ進歩ヲ認メテ居ルデアリマス、監獄ノ進歩シテ居ルト云フコトハ認メテ居リマス、而シテ懲治人ノ收容取扱ニハ愉快ト不快ト感シテ居ル、懲治人ノ爲シタル不長行爲ト云フモノハ、ドンナモノデアリカト云フコトヲ見ルニハ懲治人ヲ收容シ監獄ニ行ッテ、裁判ノ言渡書ヲ見ルカ必要デアル、ソコデ其裁判ノ言渡書ヲ見ルト云フト、吾々少年時代ニ於テ大抵犯シテ居ル不長行爲デアリマス、監獄ノ地名ハ指シマセヌ、裁判所ノ名前モ申シマセヌ、隣ノ池ニ行ッテ其池ニ居ル鰻ヲ二尾取ッテ來タト云フノデ以テ、懲治四年ヲ喰ツタ十二歳ノ少年ガアル、今一ツ私が驚キマシタノハ邸宅デハナイ、田園ニ於ケル西瓜ヲ六俵盜シタト云フノデ、懲治三年ヲ科セラレタト云フ懲治人ガアル、甚シキニ至リマスルト云フト、往來デ藝口ヲ拾ッテ中ニ六十錢アツタノヲ、届出テ

カッタメニ、三年ノ懲治ニ附セラレテ居ル者ガアル、ソレカラ二十錢ノ錢ヲ盜シタト云フ
タメニ二年ノ懲治ニ附セラレテ居ル者ガアル、其年齡ハ皆十二歳位、私ノ記憶ニ依レバ正シ
イ計算ニスルト云フト、十歳幾箇月ト云フノガ最も多イ、監獄ノ理事者ノ話ヲ聞クト、
實ハ同情ノ念ニ堪ヘヌ、併シ裁判ヲ言渡サレタ以上ハ、監獄デハ執行シナケレバナリ
マセヌガ、今ノヤウナ者ヲ懲治ハトシテ、略、監獄ト同シヤウナ所ニ二年、三年、四年、多キ
ハ六年モ繋イデ置クト云フコトハ、果シテ刑法ノ理義ニ添フモノアルカ刑法ノ上ニハ彼等
ノ犯罪ハ罪トシテ問ハヌト云フマデ、法律デハ情ヲ懸テ居ルニモ拘ハラズ、懲治ノ名
ノ下ニ同シヤウナ拘禁ヲソレ程マデシナケレバナラヌ必要ハ感シラヌ監獄ガ惡イカ、裁判
ガ惡イカ御探究ヲ願ヒタイト云フコトヲ司獄官ガ言ハレタガ、ソレハ尤モト思フ、隣リノ
西瓜ヲ盜シタトカ、隣ノ柿ノ樹ノ柿ヲ取り、隣ノ池ノ金魚ヲ攫ムト云フカ如キコトハ、恐
ラク誰デモヤツタ不長行爲デ、是デ懲治人トナッタナラバ、吾々ハ幸ニシテ免レタ人間ト云
ハナケレバナラヌ、ソレヲ裁判スル人間ハ誰カト云フト、老朽用ヲ爲サヌ區裁判所ノ判事
トカ、若朽事ニ慣レザルボツト出ノ書生判事アル、政府ハ歐米各國ニ於テ最モ注意ヲ
拂ッテ居ル兒童ノ強制教育、子供裁判ノ如キ後見裁判ノ如キ、普通ノ裁判官デハナ
カ／＼相當ノ裁判ト云フモノハ出來ルモノデナイ、普通裁判官ノ經驗デハ兒童ノ裁判
ハナカ／＼出來ルモノデナイ成年以上ノ者ヲ裁判スルヨリ大切アルト云フノニ、六年マ
デ行ケル懲治ト云フ武器ヲ、斯ル役ニ立タザル判事ニ今日マデ授ケテ居ッテ、其局ニ當ル
獄吏ニ嘆息ノ聲ヲ發セシムルニ至リタル、其沿革上ノ理由ヲ承ハリタイ、併セテ當委員
會ニ於テ要求致シマスガ、次ノ會マデニ監獄局ニ於テ御調査ニナツテ居ルデアリマセウ、
私モ幾分力存シテ居リマスガ、其區裁判所ニ於テ言渡シタル判決文ヲ纏メテ、此委員
會ニ御配付ヲ願ヒタイ、是ハ當然刑法ノ攻究トシテ、監獄法ノ攻究トシテハ又經世家
ハ最モ注意シテ研究シナケレバナラヌ大問題アルト思フ、此判決文ハ十枚アツテモ、百
枚アツテモ、千枚アツテモ讀シテ御覽ナサイ、誰人ト雖モ涙ヲ溢サナイモノハナイ、十二歳
デナク、十二歳アツタ宜カッタ、サウシテ是非ノ辨別ガアルト言ッタ宜カッタ、サウスル
ト、屋外竊盜十五日位デ濟シタノニ、年齡ガ少ナイタメニ御恩典ニ依ッテ、十五日ノ
モノガ六年ニナツタ、斯ウ言ッテ居ル狀況ハ我々之ヲ聞イテ酸鼻ニ堪ヘヌノアル、本案ノ
監獄法ハ私ハ餘程進歩シタルモノト思フ、世界ノ監獄法ノ中デ、進歩シタル部分ニ算
ヘテ居ル、監獄法ガ如何ニ進歩シテモ、現在ノ當局ノ執行方法ガ後レテ居ルハ遺憾デ
アルカラシテ、其點ハドウデアアルカト審査スレバ、ソレモ後レテ居ナイ、餘程進歩シテ居ル
所ガ其本ヲ作ルトコロノ裁判ハ、ドンナモノカト云ヘバ、罰セイデモ宜イモノヲ罰シテ居ル
ノアル、裁判官改善問題ハ、監獄法ヲ執行スル上ニ於テ最モ必要ナルモノデアラウ、
今日司法官優待論ガ起ッテ居リマシテ、無論増俸ハ致サナケレバナラヌト云フ今日ニ
當ッテ、斯ル判事ガアツテ、鰥一尾デ六年、西瓜一俵デ四年ヲ言渡スト云フ判事ガアリ
マシタナラバ、待ツニ優俸ヲ以テスル必要ハナイト云フコトニナル、無論司法省ニ於テ近
時陶汰ノ途ヲ御講ジニナルコトハ固ク信ジテ疑ヒマセヌガ、今日マデハ一體ドウ云フ方針
デ、斯様な事柄ヲ看過セラレテ居ッタデアアルカト云フコトヲ承レバ宜イノデ、今日ノ實際
ハ宜イ、今後モ宜イ、今日マデハドウ云フ譯デサウ云フ取扱振ラシテ居ッタデアアルカト云
フコトヲ承リタイ、併セテ判決文ノ全體若クハ一部分ノ要求ヲ致シマス

○政府委員(法學博士河村讓三郎君) 花井君ヨリノ御質問ハ懲治處分ガ當ヲ得
テ居ラヌ、其處分ノ當ヲ得ナイノハ、裁判官其人ヲ得ナイノデ、其理由如何ト云フノ御
質問デアリマス、司法當局者ニ於キマシテハ、常ニ裁判所ノ監督ニ努メテ居ルデアリマ
スケレドモ、何分多數ノ裁判官ノコトデアリマスカラ、時々其裁判ノ當ヲ得ナイト云フコ
トガ、必シモ無イトハ申サレマスミト思ハレマス、併ナガラ是ハ花井君ガ監獄ニ就テ、實
地御調査ニナツタト云フコトデアリマスカラ、決シテ誤ハアリマスマイガ、一々其事件ニ就キマ
シテ、精シク研究致シマセト、果シテ其當ヲ得テ居ルデアアルカ、得テ居ラヌデアアルカ
ト云フコトヲ、今茲ニ斷言致スコトハ出來マセヌガ、無論裁判官ト雖モ故ナクシテ其處
分ヲシタモノデアリマスミト思ヒマス、必ズ其少年本人ノ性質、平素ノ素行等ニ鑑ミマ
シテ、是ダケノ處分ヲ爲スコトガ必要ナリト信ジテ、ヤツタモノニ相違ナイト思ヒマス、若シ
是ガ誤トスレバ、即チ其裁判官ノ見ルトコロガ誤ッテ居ルデアラウト思ヒマス、之ヲ改善
スルニハ益、此裁判官ヲ善クスル、學問ノ研究ヲ積ミ、又事務ニ經驗ヲ重ネシムルト云
フコトガ必要ト思ヒマスカラ、其點ニ付テハ將來尙一層當局ニ於テハ努メル積リデアリマ
ス、尙一ツ注意シマスルコトハ、此裁判官ノ見ルトコロト、司獄官ノ見ルトコロハ、往々
違フデアリマス、是ハ地位ト職務ノ上カラ自然サウ云フ差異ガ生ズルデアラウト思フ、
司獄官ハ監獄ノ行キマシテカラ後ノ本人ノ行動、又本人ノ訴フルトコロナドヲ聽キマシ
テ、ソレニ依ッテ如何ニモ不憚デアルト云フヤウナ感シヲ起スコトガアラウト思フ、是ガ善
意デサウ云フ感シヲ起スコト、敢テ裁判所ヲ非難スルト云フ考デアリマスミケレドモ、是
ガ境遇ニ依ッテ違フトコロデアリマス、又一面裁判官ノ方ニ付テ見マス、司獄官ハ一
向事實ヲ調ベテ居ナイ、自分ガ其事件ヲ審理シテ居ルデアアル、一方ノ本人ノ言フ
トコロバカリヲ聽イテ、必シモソレヲ信ズルノハ當ヲ得ヌト云テ居リマス、ソレハ裁判官ノ
地位カラサウ云フ考ヲ起スコト、ソレハ能ク中庸ヲ取ッテ判斷シナケレバナラヌト思フノデ、
必シモ一方ノ言フトコロガ宜イトハ思ハレマス、併シ花井君ノ御注意ノコトハ往々私共
ノ耳ニスルコトデ、其點ニ付テハ將來十分ノ注意ヲ拂フ考デアリマス、ソレカラ急ニ其判
決ヲ取調ベテ御覽ニ入レマスコトハ困難ト思ヒマスケレドモ、此事ハ必シモ監獄法ノ調
査ニノミ關係セズ、司法事務ノ改善ノタメニ必要デアリマスカラ、調ベラレタケ調ベマシ
テ、他日御覽ニ入レルコトニ致シマス、若シ此委員會中ニ間ニ合ヒマスレバ御覽ニ入レ
マス、サウ云フコトニ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

○花井卓藏君 唯今ノ御答ノ中ニ左様な事柄ハ全ク聞及バヌデモナイカラシテ、今後
ハ注意スルト云フコトヲ申サレタノデ、私ハ満足致シマス、所ガ司法次官ノ御答ノ中ニ
司獄官ノ見ルトコロト、裁判官ノ見ルトコロハ違フデアラウ、司獄官ハ不憚ノ情ヨリシ
テ、幾分力底ヲ意味ガアルデアラウガ、裁判官ノ方ニナルト、鄭重ナル審理ヲ盡シタ結
果、ドウシテモ斬ラザルベカラサルモノヲ、涙ヲ揮ッテ斬ッタデアアルカラ、ソレハ別ニ見テ賞
ハナケレバナラヌト云フノハ、一應御尤ニ聞エル、所ガ私が物好ニ一件記録ヲ讀シタノ
ガ二ツ三ツアル、被告人ハ年齡十歳、犯罪ハ八錢バカリノ巾着ヲ盜シタト云フ事件デア
ル、サウシテ警察署ニ二日拘留セラレタ、盜シタノ白狀シタデアアル、サウシテ裁判所ニ
送ラレタデアアル、其方ハ左様なコトヲシタカ、致シマセヌ、警察デシタト云フコトヲ言ッ
テ居ルハナイカ、致シマシタ、證據書類ヲ讀聞カセ、判事ハ即時判決ヲ言渡シタト書イ

テアル、立會ノ檢察官ハ年俸二百圓ノ司法官試補、判決シタル單獨判事ハ年俸六百圓、第二回ノ試験ノ末席ニ於テ辛シク及第シタ位ノモノデアル、是デ鄭重ナル審理ガ出來テ居ルト云フコトガ言ヘマセウカ、恐ラクハ此處ニ公判始末書ヲ取テ御調ニナッタナラハ私ノ申シテ現象ハ必ズ映ズルニ相違ナイト思フ、サウシテ懲治處分デアルカラシテ、上訴ハ出來ナイノデアル、サウシテ其位ノ簡易手續デアルカラ辯護人ト云フモノハ附テ居ナイノデアル、詮議ヲシテ行ッテナラハ冤罪デアル事件デアルカモ知レマセヌ、此ノ如キ有様デ鄭重ナル審理ト云フコトガ言ヘルデアラウカ、近時最モ刑事政策ノ新傾向トシテ有力ナル歡迎ヲ受ケテ居リマスル子供裁判所ガ、成年ノ犯罪ヲ審判スルヨリハ、十倍百倍ノ熱誠ト、慈愛ト、知識ト、經驗トガナケレバ、子供ノ裁判ハ出來ナイト云フ主義ニ比ベテ見テ、唯今私ノ言フノ今日ノ現狀ナリトシタナラバ、實ニ刑法ガ如何ニ改善セラレデモ、監獄法ガ如何ニ改善セラレデモ、斯様ナル裁判官有スル國民ハ、禍ナル哉ト云フ歎聲ヲ發セザルヲ得ヌト思ヒマスカラ、必ズ嚴重ニ御調査ノ上、注意ヲ與ヘテ貰ヒタイ、餘リ低イ處デアル裁判デアルカラ、御目ガ居カヌノデアラウケレドモ、實ニヒドイ話ナノデ、見テ私共ハ驚イテ、或時ハ小山君、小河君ニモ申シタコトガアルト記憶シテ居ル、最モ甚シイモノヲ申シマシタナラバ、鰐ヶ澤ノ區裁判所ニ於テ言渡シタル懲治六年囚デアッテ、年齡ハ十歳、是ハ青森ノ監獄ニ繋ガレテ居ル、青森ノ監獄ハ御承知ノ通り農業監獄デアル、吾々ノ如キ者ハ輕禁錮デモ勤マル場所デハナイ、其處ニ此位ノ小僧ガ六年生活ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ有様ニナッテ居ル、ケレドモ是ハ裁判官ガ裁判シタニ違ヒナイ、六年ノ懲治ト云フコトヲソレデ彼處ニ繋ガレテ居ル今一ツ著シイノヲ申シタナラバ、京都監獄ニ收容サレテ居ルトコロ鰐ヶ澤ノ子供デアル、年齡ハ十歳カ十一歳、小田原ナドニ居リマスル者ハ、年限ガ長ケレバ長イ程却テ作業ノ教育ヲ受ケ、學問ノ教育ヲ受ケテ出テ立派ナ人ニナレマセウ、ケレドモ小田原、川越ト云フヤウナ風デナイ監獄ニ懲治人ヲ收容シタル分ハ、作業ノ教育モ受ケズ、學問ノ教育モ受ケズ、犯罪ノ教育ヲ受ケテ彼等ハ出テ來ルト云フ理窟ニナッテ居ル、罪アリト雖モ罪スルニ忍ビザルガ故ニ、懲治ニ處セラレテ、其御恩典ノタメニ反テ犯罪ヲ研究ヲシテ、卒業シテハ箇年目ニ出テ來テ、今度ハ本當ノ罪人ニナル一步進ミタル監獄ニ入ルト云フヤウナ事柄ニ獎勵セシメラル、ト云フ御趣意デハアルマイト思フ、此點ハモウ監獄當局者デハナイ、私ハ裁判官ニ罪アリト思ッテ居ル、裁判官ニ就テ嚴重ナル御調査ノ上ニ御監督ヲナスッテ、左様ナ判決ヲ與ヘタ者ハ、人才ハ盛ニ居ル、此人材ハ優俸ヲ以テ迎ヘナケレバナラヌト云フノデ、吾々ガ増俸案マデ出シテ居ル今日ニ當ッテハ、確ニ議論ノ妨ニナルカラ、速ニ御免職ニナランコトヲ私ハ望ミマス

○政府委員(法學博士河村讓三郎君) 今一應簡單ニ申シテ置キマス、花井君ガ鄭重慎重ニ御調査ニナリマシテ、茲ニ司法當局者ニ御注意ヲナサルノハ誠ニ感謝スルトコロデアリマス、當局ニ於キマシテモ、新刑法ノ實施ヲ以テマシテ、刑事政策上ノ一大新紀元ト考ヘ、之ヲ完全ニ實行スルコトニ付テ、イロ／＼計畫ヲ致シテ居ルコトモアルデゴザイマスルガ、唯今御注意ノ如キハ肝要ナル一事項トシテ、十分ノ調査ヲ遂ゲ、十分ノ改善ヲ圖ル考デ、居リマスル、此事タケテ御答致シテ置キマス

○委員長(谷澤龍藏君) モウドウデス、總體……

○宮古啓三郎君 チョット私御問シタイ、此刑事ノ被告人ガ監獄ニ行ッテ、暫クノ間監獄ノ中ニ居ル結果トシテ、却テ惡シキ人ニナル、即チ監獄ガ犯罪ノ研究ノ學校ノ如キ有様ヲ呈スルト云フヤウナコトハ、是迄誠ニ數ガ多イノデアッテ、常ニ吾々ガ歎デ居ルタコロデアアルノデゴザイマスルガ、今度ノ監獄法ニ依ッテ左様ナ事柄ハ無クナリ得ルカ、全ク絶無トハ言ヒ得ナイニシテモ、今迄ノヤウナコトガ無クナリ得ルノデアアルカドウカ、サウ云フ方法ニ今度ノ監獄法ハ出來テ居ルカ否ヤト云フ、チョットノ御説明ト、ソレカラモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、是モ能ク吾々ノ耳ニスルトコロデアリマスルガ、此監獄ノ中ニ入ッテ同一關聯ノ刑事ノ被告人ガ、話合フスルコトガ出來ル、是ハ監獄ノ構造ノ問題ニ勿論關係ヲ有スルコトデアリマスルガ、刑事ノ被告人ガ、所謂之ヲ電信トカ唱ヘテ、隣カラ隣ト云フヤウニ、取次ヲシテ話合フスルコトガ出來ルト云フコトヲ聞クノデアリマスルガ、サウ云フ事柄ハ今日ニ於テ改良シテ防ギ得ルコト、御信ニナッテ居ルカ、或ハサウ云フ事柄ノ無イヤウニ、監獄ノ制度ヲ改メヤウト云フ御趣意デゴザイマスルガ、是ハ單ニ此監獄法ト云フ法律タケニ關係ノ事デアリマセヌケレドモ、ヤハリ關聯シテ居リマスルカ何デ置キタイト思ヒマス、此二ツノ點ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスルカラ御説明ヲ仰ギタイ

○政府委員(小山溫君) 前ノ御問ノ監獄ニ入ッタガタメニ、犯罪ヲ教ヘラル、コトガアルガ、ソレヲ絶無ニ歸セシムルコトガ出來ルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、ソレハ明瞭簡單ニ答ヘマスル、出來マセヌト御答ヲ致シマス、併ナガラ無イヤウニ努ムルコトハ努メマス、詰リ刑法ガ犯罪絶滅ノ目的デ出來テ居リマスガ、其絶滅ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト同様、殆ドムツカシイコトデアリマス、サウシテ是モ監獄ノ建物ト、並ニ人物、ソレカラ通常使ヒマスル金ト云フモノハ皆揃ヘテ見テ、經驗ガ出來ルコトナラバ、或ハ出來ルカモ知レマセヌガ、今日ノ有様ニ於テ、私ハサウ云フ事蹟ヲ絶無ニ歸セシムルト云フコトハ、御請合ヲ致兼ネマス——デハナイ、反對ニ出來ナイト思フデス、ケレドモソレハ此監獄法デドウカト申シマスノニ、サウ云フ方法ニハ出來テ居リマスルケレドモ、是ハ法制タケノコトデアリマシテ、法制ノミニ依ッテ、サウ云フ事ヲ絶無ニ歸セシムルト云フコトハ、殆ド出來ナイコトデアラウト思フノデス、是ハ併ナガラ出來ルト思フ思ハヌノ議論デゴザイマスルガ、私ハ出來ナイト思ヒマスルシ、大方ドナタデモ出來ナイコトダト思召スデラウト思フ、ケレドモ無論サウ云フ事ノ無イヤウニ努メナケレバナリマセヌ、其努ムル方法トシテノ法制ハデス、今度ノ監獄法デモ聊カ設ケテアル積リデアル、ト云フノハ此拘禁章ヲ御覽下サイマスルト、拘禁方法ノ區別ノ標準ガゴザイマス、其標準ニ從ッテ立派ニソレヲ形ノミナラズ、精神マデ行ヘルヤウニナリマスレバ、絶無ニ歸セシムルコトガ出來マセヌ迄モ、サウ云フ事蹟ヲ減少セシムルコトガ出來ルト信シテ居ル、ケレドモ是モ現行ノ監獄ノ建物、現行ノ監獄ノ監房デ、一切出來ルカト云フ、ソレハ出來ルト云フコトニハ躊躇セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレハ今花井君ハ方々ノ監獄ヲ御覽ニナタト仰シヤイマシタガ、宮古君モ少シ監獄ヲ御覽下サリマスルト、監獄ガ如何ニ盡力シテ居ルカト云フコトヲ御認メニナルダラウト私ガ信ジテ居ル、ソレカラ其刑事被告人ノ交通ノコトデアリマスガ、是モ此改正監獄法ノ精神カラ申シマスルト云フ、刑事被告人ハ一人々々別々ニ監獄ニ入レタイト思ウテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ其刑事被告人ノ數ハ時ニ増減ガゴザイマシテ、或ル監獄ニ刑事被告人ガ殖エマシタ時分ニ、ソレヲ一々別々ノ監獄ニ置クト云フコトモ現今

ノトコロデハチヨット出来兼ネマス、ソレデゴザイマスカラ、既ニ一人ハ入レマセヌ、少ナケレバ一人、多イ場合ハ二人デゴザイマスガ、三人トシマスル場合ニ依テ監房ヲ變ヘナケレバナラヌコトガアル、監房ヲ變ヘルコトガ出来マスルキニ、其人間ガ所謂電信ニナツテ、ズット傳ヘテ行ク、斯ウ云フコトニナルデゴザイマシテ、是モ理想トシテハ一人々々別々ノ監房ニ入レ、近キ事件ニ關連スルモノハ成ルベク特ニ離シテ置クト云フ風ニシマスル、防グコトガ出来ルト思フデゴザイマス、ソレデコレモ改正ノ監獄法ノ中ニ規定シテアルノデゴザイマスカラ、詰リ努メルデケハ努メマスケレドモ、ソレハ此法制ヲ絶無ニ歸サセルコトガ出来ルカト云フコトヲ仰シヤレバ、ソレハ簡單ニ答ヘレバ、出来マセヌト云フ外ハアリマセヌ

○磯部四郎君 モウ大體ノ質問モ先程カラ十分ゴザイマシタシ、又此各章竝ニ各條ニ付キマシテモ、自然ソレヲ議論モ出テ来ルデゴザイマセウカラ、相成ルベクハ是デ大體ノ質疑ヲ終リマシテ、逐條審議ニ移ラレンコトヲ希望シマス

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ是デ大體ノ質問ヲ終リ、逐條審議ニ移リマス

○政府委員(小山溫君) チヨット先刻ノ望月サシノ刑法ノ御尋ニ對シテ御答ヲシテ置キマス、御問ハ詰リ手續ニ關スルコトデゴザイマスガ、是ハ手續法ノ制定ニ依テ、必シモ畫ニハ出来ナイダラウト思ヒマスガ、別々ニ手續ヲ設ケマセヌ以上ハ、判決ト同時ニ判決ヲ以テ言渡スコトニナルダラウト思ヒマス、新刑事訴訟法デモ出来マシテ、其刑事訴訟法ヲ別々ノ手續ヲ定ムルコトモ出来ルダラウト思ヒマス

○望月長夫君 新刑事訴訟法ガ出来タトキハ、ソレハ新刑事訴訟法ヲ補充スレバソレハ別問題ダケレドモ、現在ニ於ケル刑法施行法ト云フモノハ即チソレマデノ組合セノ法デ、本ハ溯テ此刑法第二十一條ヲ讀ムルキニ、是ハ法定ニ依ルカ、即チ未決拘留ハ或ハ半分或ハ三分ノ一ハ必ズ刑期ニ算入セバナラヌト云フ規定ニスルカ、或ハ裁判官ノ自由ノ決定ニ任スルカト云フコトハ、當時大問題デアッタ、吾々ハ寧ロヤハリ法定主義ヲ取ツテ、未決拘留ハ必ズ或期間ハ本刑ニ算入シタイト云フ議論ヲ取ツタノデアアル、ケレドモヤハリ原案ノ如ク多數デ此全部又ハ一部ヲ算入スル、斯ウ云フコトニナツタ、ソレデ其當時ノ精神カラ云ヘバ今小山政府委員ノ仰シヤル通りニ、裁判ト同時ニ言渡ス精神デアッタニ相違ナイケレドモ、是ハドウデセウ、私ガ考ヘルト刑事訴訟法ノ第二百二十三條、是ハ刑法ノ重罪ニモ適用サレテ居リマスガ、被告事件其裁判所ノ管轄ニ屬シ且犯罪ノ證據十分ナルトキハ判決ヲ以テ法律ニ從ヒ刑ノ言渡ヲナス可シ此刑ノ言渡ヲナスベシト云フ字ハ、被告人ニ向テ其方ヲ三年ノ懲役ニ處スル、或ハ三箇月ノ禁錮ニ處スル、即チ被告人ニ科スベキ刑期ヲ言渡スト云フ文字デアアル、被告人ガ受クベキ刑ノ範圍ノ極マル言渡デアアル、所ガ此第二十一條ハ所謂刑ト稱スル第二章中ノ規定デアツテ、サウシテ其全部又ハ一部ヲ本刑ニ加算スルコトヲ得、斯ウ云フコトガ書イテアル、此本條ノミデ解釋スルト、本刑ハ三箇月デアル三箇月ノ言渡——コ、マデハ裁判ノ範圍デアアル、所ガ其執行ヲ必ズ三箇月遺ルカ遺ラナイカト云フ問題ニナツテ、未決拘留ガ百日アル其三分ノ一ヲ本刑ニ入レテ執行スルカドウカト云フコトガ、即チ刑ノ執行ノ問題ニナル、第二十一條ニ書イテアル本刑ニ算入スルコトヲ得、即チ刑ノ執行ノ中ヘソレヲ加ヘルコトガ出来ルト云フ文章カラ考ヘテ見ルト、寧ロ刑ノ執行ノ問題ダケデスガ、

刑事訴訟法ノ二百二十三條ニ書イテアル判決ヲ以テ、刑ノ言渡ヲ爲スベシト云フ刑ノ中ニ、被告ニ向テ其方ヲ一年ノ懲役ニ處スル、併シ其方ハ既往一箇年間未決拘留ニ居ッタカラ、其中ノ三分ノ一ヲ差引イテ、殘ル七箇月ヨリ執行シナイ、是ガ法律ノ規定ヲ待ズシテ特ニ施行法ナリ何處カニ其規定ヲ存セズシテ、裁判官ノ其判決ヲ言渡スト云フコトガ出来ルト云フ解釋ガドウシテ出来マセウ、餘程重大ノ問題ト思フ、僅カニ委託物費消罪位デ、現ニ一年モ未決拘留ニ繋ガレテ居ルヤウナ四人ハ、何處ノ監獄ニ行ツテ見タツテ幾ラモアル、ソレヲ全部刑期ニ算入シテ遺ルカ或ハ半分算入シテ遺ルカ、或ハ三分ノ一算入シテ遺ルカ、是ハ本刑ヨリ重大ノ關係ヲ有ツテ居ル、其重大ノ關係ヲ有ツテ居ルコトヲ裁判スル——裁決スル規定ヲ何處ニモ存セズシテ置イテ、サウシテ唯今ノウヤナ御説明ノ趣旨デ置イタラ、餘程重大ノ爭議ニナルダラウト、私ハ議論ニ勝タウトモ何トモ思ハナイガ、少クモ疑ヒナリマスカラ之ヲ明カニシテ、裁判當時ハ言渡スベキモノナラバ、ヤハリ刑法施行法ノ方デサウ云フ歩ミ合フ付ク規定ヲ一ツ置イタラ、臆ニ能ク分リハセヌカ、唯本刑ヲ執行スルコト云フノハ、是ガ檢察官監獄長ノ權内デ、未決拘留ノ日數ヲ勝手ニ本刑ニ入レル、期限ヲ決定スルヤウニ是ガ解釋サレタラ、餘程等閑ニ附スルコトノ出来ル問題ト思フ、デ私共ガ是ハヤハリ判決ト共ニ言渡ス答デアアル、ソレ以外ノ方法デハ出来ナイ、裁判ハ必ズ本刑ヲ言渡ス際ニ未決拘留日數ヲドレダケラ控除シテ、其殘日數ヲ執行スベシト第二十一條デハ、私ハサウ云フ外ナイト思フ

○政府委員(小山溫君) 詰リサウスルト御見解ハ吾々ノ見ルトコト同一ニ歸スルヤウニ思ハレマスガ、是ハ裁判官デ解釋致シマスル場合ニ外ノ解釋ヲスルコトガ出来ルトナレバ、致方ナイト思ヒマスガ、吾々ノ見ルトコロデハサウハ解釋ハ出来マイト考ヘル、ト云フノハ、未決ノ拘留ノ日數ヲ算入スルコトセヌト云フコトガ、刑法ニ規定シテアリマスナラバ、ソレナラバ或ハ執行指揮權デ出来ルカモ知レマセヌガ、サウデナケレバ刑法ノ第二十一條ハ其全部又ハ一部ハ本刑ヲ算入スルコトヲ得ト云フノデハ分ラナイ、詰リ自由裁量デ、誰カ極メコトヲ得ルノデナケレバナラヌ、判事ガ——裁判所ガ此一箇月ナラ一箇月ノ中ニ付テ、其未決拘留ガアッタトスレバ、其幾分ヲ差引クノデアルト云フコトヲ明白ニシテ置キマセヌケレバ、判決ノ解釋ハ出来ナイ、若シサウナツテ居リマセヌケレバ、ソレヲ判事若クバ檢察官ガ差引シタリスルコトハ解釋上出来ヌコトデアラウト思ヒマス、ソレデ其コトハ此前回即チ刑法ノ改正案委員會ノ時分ニモ、ヤハリ望月サシノ御尋ガゴザイマシテ、當時政府委員ノ答ニモ、ヤハリ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス「本刑ノ判決ト同時ニヤルコトニナラウト思ヒマス、併ナガラ必シモ其決定ヲ以テ本刑ノ判決ト別々ニ裁判スルコトハ妨ゲナイト思ヒマス、是ハ手續ヲドウ極メルカト云フ問題ニナルノデアリマス」斯ウ云フ答ニナツテ居リマス

○望月長夫君 ソレデ手續ヲ極メテナイト明白デアアルマイト思ヒマス、殊更ニ一項ヲ加ヘルトカ、或ハ但書ヲ一項ヲ置クトカシテ、明白ナルモノヲ置カズ、特ニ之ヲ殘シテ置イタノハ、ソレデ何カ理由ガアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 何ニモナケレバ判決ト云フコトノ外ニ方法ハナイト考ヘマス
○花井卓藏君 望月君ノ御質問ノ趣旨ニ對シテハ、私ハ答辯ノ責任ハ勿論アリマセヌガ、刑法ノ起草ニモ與リ、又施行法ノ起草ニモ關テ居リマスカラ、乃チ多少ノ緣因

ヲ持テ居ルノデアリマスカラシテ、説明ヲ致シマスガ、望月君ノ御疑ハ御尤デアアル、其所
以ハデス、即チ刑法第二十一條ノ明文ニ十分ニ疑ノ解ケルホドノ文字ガ書イテナイカ
ラ、乃チ文字ヲ節約シタガタメニ疑ガ起ルノデス、ケレドモ實際ヲ言ヘバ、是ハ和蘭刑法ノ
二十七條ヲ其儘翻譯シタ條デアアル、和蘭刑法ノ二十七條ニハ疑ガ解ケルヤウニ條文
ニハナキリ書イテアル、即チ刑ノ言渡ヲ受ケタ者ガ、未決監内ニ於テ經過シタル時間ハ、
判決ヲ全部又ハ一部ヲ通算シ、之ヲ有期禁錮拘留又ハ罰金ヨリ減ズベキコトヲ命ズル
ヲ得ベシ、ト斯ウ書イテアリマス、日本ノ立法者ハ非常ニ潔癖デアアルノデ、刑法ノ上ニ於
テ判決言渡ノ手續ヲ規定スルコト云フコトハ、餘リニドウモ見苦シイコト云フノデシテ、刑事
訴訟法ニ議ル積リデ、若クハ又刑事訴訟法ニ議ラズトモ、法文ノ作用デ自然ニ判決ガ
出來ルカラ、ソレデ以テ第二十一條ノ動キハ付クノデアアル、當然ノ解釋ガ出來ルト云フ
趣意デ、判決ヲ以テスルコトヲ得ルト云フコトヲ削タモト私ハ記憶シテ居ル、ソコデ新
刑法ノ解釋トシタナラバ、唯今小山君ノ申サレマシタル通り、第二十一條ハ判決ヲ以テ當
然ニアルベキモノデアアッテ、裁判官以外ノ者ガ執行ヲスル範圍ノ中ニハ屬セヌモノデアアルト
云フコトハ、正シキ解釋デアラウト思フ、其意味ヲ以テ本條ハ御解釋ヲサレマシタナ
ラバ、宜カラウト思ヒマス、若シサウデナクシテ、和蘭ノ刑法ニ判決デスルベシトアルノ
ヲ、日本ノ刑法デ、削テアルカラ、其點デケガ違フノデト云フコトニナレバ、望月君ノ申
サレル通り、其手續ノ規定ガナケレバナラヌデアリマスケレドモ、サウデナイノデスカラ、私ノ
申ス通りニ御讀ヲ願ヒマス、私共ハ立法ノ潔癖ニ過グルヲ惜ム、ソレガタメ往々疑ヲ生ズ
ルノデスケレドモ、刑法第二十一條ハ其要領ハ唯今申ス通りデアラウトアリマスカラ、其
事ハ速記ノ上ニ明カニシテ置イテ、運用ニ差支ナイヤウニシテ置キタイト思ヒマス、一言
辯明シテ置キマス

(一) 逐條審議ヲ願ヒマス(ト呼フ者アリ)

○花井卓藏君 第二十一條ハ判決ヲ以テスルト云フコトヲ定メテ居リマス

○望月長夫君 外ニモアリマスカラ、モウ少シ攻究シテカラニシマセウ

○委員長(谷澤龍藏君) 逐條審議ニ移リマス、第一條

○花井卓藏君 第一條ノ標題ニ付テ質問致シマスガ、總則ト書イテアリマス、一條ヨ
リ十條マデ讀ンデ見マスルト云フト、ドウモ監獄法全體ニ貫通スベキ全體ノ原則ヲ定メ
タルコトノモトハ見エナイデアリマス、例ヘバ第一條ハ監獄ノ區別性質ヲ定メタル各
論ノ規定ノヤウニモ讀メルデアリマシテ、而シテ其區別ノ以外ニハ拘留監ニハ云々、
警察官署ニハ云々ト云フ變則ヲ示サレタカノ如クニ見エマス、ソレカラ第二條、第三條
ノ如キモノハ、監獄ノ區別並ニ分界ト言ヘルガ如キ、各論ノ規定デアアル、ソレカラ第四
條ハ、官吏巡閱ノ各論ノ規定デアアル、第五條ハ參觀人心得ノ規定デアアル、第六條ハ
没入又ハ國庫ニ歸屬シタルモノ、用途ヲ示シタル各論ノ規定デアアル、第七條ハ在監者
ノ情苦ヲ訴フルコトノ手續ノ各論ノ規定デアアル、第八條ハ本法中最モ惡特色タル勞
役場ヲ監獄ニ假設スル獨立規定デ、ヤハリ各論ニ屬スルモノデアアル、第九條ハ刑事被
告人ニ適用スベキ規定ハ、死刑ノ言渡ヲ受ケタルモノニ之ヲ準用シ、懲役囚ニ適用スベ
キ規定ハ、勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタルモノニ之ヲ準用スル規定デゴザイマシテ、是ハ
場合ニ依ッタナラバ、總論的、各論的混合ノ性質ヲ有スルモノト解釋上ナルカモ知レナ

イガ、見ヤウニ依ッテ或ハ總論的規定デアルカモ知レナイ、斯様ナコトハ立法上ノ形式体
裁ニ關スル問題デアリマスカラシテ、或ハ實益ノアルコトデハナイケレドモ、立法ノ面目ト
シテハ餘程考ヘナケレバナラヌコトヲ思ヒマス、總則一條若クハ一條半ニシテ獨立シ
タル各論規定ト云フモノハ、之ニ章ヲ設ケルト云フノハ面倒デアアルカラト云フノデ、之ヲ稱
シテ總則トシタナラバ格別、所謂學理的ニ總論的規定ヲ定メタルモノナリト致シマシタ
ナラバ、第一條カラ第十條マデノ間ニ、九條十條ヲ除キテハ餘リ當ラザルモノ、如ク考ヘ
ルモノデアリマス、故ニ第一章ノ方ハ寧ろ通則ト云フヤウナ意味ニ定メテ、一般的ニ總
則ノ法律ニ用ヒラレタル總則ト云フ程ニ潔癖ナル規定デハナイト云フ事柄ヲ示シタイ
メニ通則トスル修正說ヲ出シタナラバ、御同意ニナルデアリマセウカ、勿論内容ヲ見レ
バ所謂總則デアナイト云フコトハ分ツテ居リマスケレドモ、ドコノマデモ潔癖ニシヤウト云
フデアアルカラ、一言ヲ發セザルヲ得ヌ

○政府委員(小山溫君) 實ハ總則ト云フコトヲ固執スル程ノコトデアリマセヌ、總
則デモ、汎則デモ、凡例デモ、概則デモ、何デモ宜シイ、ドウ云フ風ニシタコロガ原則ナ
ラ全編ニ關スルコトデ、總則ト意味ハ變リマセヌ、見方ノ話デアリマスガ、其様ニ一々離シ
テ見レバ、サウ云フヤウニナリマスガ、第二章以下ニ各則ガアリマスガ、第二章ニ「新ニ入
監スル者アルトキハ」アルノハ、第一條ノ懲役監ニ這入ッテ來ル者、拘留監ニ這入ッテ來
ル者、皆總則ノ中ニアルカラト云フコトデアリマス、ソレカラ拘留監ニ這入ッテ來ル者、總
則ノ處ニ皆通ジテ居リマス、總則ト云ウタコロガ、別ニ差支ナイ、通則ト云フナラドレ
ケ差支ルカト云フト、別ニ差支ルトコロハナイ、通常法律ノ汎論的ノ規定ニハ、總則ト
云フ文字ヲ使ッデアリマスカラ、ソレニ倣フタメニ過ギナイデアリマス

○花井卓藏君 是デハ問フテ置キマス、曾テ政府デハ第一章ノ總則ト云フ文字ヲ用井
ラズシテ、通則ト云フ文字ヲ詮議ノ上練リニ練ツタ上ト云フト御答ニ迷惑デアリマセウ
ガ曾テ通則ト云フ文字ヲ用井ラレテ居タ時代ガアリマシタ

○政府委員(小山溫君) サウ云フコトモゴザイマシタ

○花井卓藏君 ソレデ負ケテ置キマセウ

○委員長(谷澤龍藏君) 總則ニハ御異議ハアリマセヌカ

(二) 異議ナシ(ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ第一條

○望月長夫君 第一條ニ「監獄ハ之ヲ左ノ四種トス」ト書イタルガ、私ノ疑ヲ起スノ
ハ、第三ノ拘留場ト云フモノヲ「監獄ハ之ヲ左ノ四種トス」ト云フ中ニ書イタノハ疑ハシ
イ、刑法ノ十二條ニハ「懲役ハ監獄ニ拘留ス」トアリ、第十三條ニハ「禁錮ハ監獄ニ拘
置ス」トアル、即チ十二條十三條ニハ懲役禁錮ハ監獄ニ這入ラナケレバナラヌト極メテア
ル、第十六條ニハ「拘留禁ハ拘留場ニ留置ス」トアッテ、拘留ノ刑ハ拘留場ニ止メ置クダケノ
刑シカ科シテナイ、所ガコッチノ第一條ニハ拘留場モヤハリ監獄デアアル、如何ニモドウモ刑
法ト監獄法トガ矛盾スル、是ハ單ニ名義ノ矛盾ナラバ格別ノコトデアリマセヌケレドモ、監
獄ニ這入ッタト云ハウガ拘留場ニ這入ッタト云ハウガ、法律ノ規定ノ上ニ於テノ制裁ハ、
對スル感情ハ非常ナ相違デアアル、監獄ニ這入ッタト云フコト、唯拘留ニ處セラレタト云

フコトハ、大變ニ違フ、事實ニ於テハ其者ノ社會ニ於テ少カラザル影響ガアル、然ルニ刑法ヲ懲役禁錮ハ重イモト云フ意味ヲ監獄ハ入レルガ、拘留ハ一時ノ懲罰デ、將來成ルベク普通ノ人ト區別シナイト云フ趣意ヨリシテ、態々第十六條ノ方ハ拘留場ト云フ字ヲ書イテ置キナガラ、此處ヘ持ッテ參シテ、之ト反對ニ監獄ハ左ノ四種トシテ第三ニ拘留場ガ入レテアル、是ハドウ云フ譯デアリマス、已ムヲ得ナイト云フ趣意ニ歸着スルナラハ格別デアリマス、私共ノ考デハ寧ロ拘留場ト云フモノヲ、第八條ノ勞役場ノ如クニ監獄ニ附設スル位ノ位置ニ置イテ、勞役場ト云フモノヲ監獄ノ中ニ入レテ、拘留場ト云フモノヲ離シテシマツタナラバ、刑法ノ精神モ活キテ來ヤウト思ヒマス、特ニ監獄法ニ態々刑法ノ主義ト違フ定義ヲ擧ゲテ、拘留場ヲ特ニ監獄デアルト極メラレテ趣意ハドウ云フ譯デアリマス、又特ニ斯ウ云フ定義ヲ擧ゲテ、拘留場ナルモノヲ監獄ト名付ケナケレバナラヌ規定ノ上デ、或ハ拘留場モ監獄ト同シヤウナ規定ヲ共ニ通スベキ必要ガアルナラバ、第九條ノヤウナ風ニ拘留場ニ這入ッテ居ル者ニモ、監獄ニ關スル規定ヲ——準用スル規定ヲ設ケラレタナラバ、是モ融通ハ付ク譯デアル、刑法ハ懲役禁錮以外ノモノハ、拘留場即チ社會ノ憎惡ヲ受ケル度合ノ極メテ少ナイコトヲ希望スル上ニ於テ、區別サレテ居ルノデアルガ、餘リニドウモ監獄法ガ新タニ極メテ刑法ノ趣意ヲ沒却シヤシナイカト云フ疑ヲ持ッテ居リマス

○政府委員(小山溫君) 監獄法ハ刑法ノ趣意ヲ沒却シタ意思デゴザイマセヌ、成程刑法ニ拘留ハ拘留場ニ留置ストアリマス、拘留場ハ監獄デアリト云フ意味デアリマセヌ、拘留場モヤハリ監獄ノ一種デアリマス、刑法デ申ス懲役禁錮ト拘留ノ區別ハ、拘留ハ短イト云フダケノ區別デアラウト思ヒマス、拘留モ刑トシテハ……

○望月長夫君 ツレナラ御尋致シマス、刑法ニハ拘留場、勞役場ト云フ字ガアル、人ノ自由ヲ拘束スル場所トシテ一ツモノニ見ルナラバ、勞役場モ勝手次第ニスレバ、拘留場ヲ同シヤウニ此處ヘ離シテ書イテモ宜イ譯デアル

○政府委員(小山溫君) ツレハ此刑法ノ懲役デモ、禁錮デモ、拘留デモ、自由刑ノ區別タルニ過ギマセヌガ、勞役場ニ收容スル者ハ自由刑デハゴザイマセヌ、罰金ヲ納メマセヌ者ヲ勞役場ニ置クノデ、自由刑デナイト心得テ居リマス、ツレダケノ相違ガアル、モット斯ウ云フコトノ成行キヲ御話スルスト速記ヲ止メテ……

○花井卓藏君 望月君ノ御尋ノ趣意ハ、刑法ノ理義ヨリ言ヘバ誠ニ御尤ニ感ズルノミナラズ、私ハ確ニ其説ヲ提唱シテ破レタ時代ガアル、第一條ニハモット大キイ缺點モアリマス、例ヘバ末項ニアル代用監獄ノ規定ノ如キハ、今質問ノ御趣意ヨリ一層進シテ監獄法ノタメニ惜ム規定デアルケレドモ、已ムヲ得ナイ規定デアルト云フコトデ我慢シテ居ルノデアリマス、ツレカラ更ニ刑法ノミヲ楯ニ取ッテ議論スルト、刑法十一條十二條十三條十六條ヲ根據シテ理屈ヲ言ッテ見ルト、是等ノ法文中ニハ悉ク「拘留」ト云フ文字ガ遣ッテアッテ、拘禁ト云フ文字ハ遣ッテ居ナイ、拘禁ト云フ文字ヲ遣ッタノハ、拘留場ヲ認メタ結果ニ原因スルモノト思フガ、ツレガ抑々惡イノデ、併シ監獄ニ關スル立法ハ悉ク刑法ノ用例ニ從フニ及バヌ意味カラ、是等ノ文字ニ付テモ證據ガ仕切レナカッタト思ヒマス、ツレデ殊ニ格別ノ害ハ無イヤウデアリマスカラ、私ハ拘禁ヲ拘留トスル、第一條ノ二項三項ヲ改正スルノ時期モ亦アルデアラウ、而シテ又望月君ノ説モ此等ノ場合ニ同時

ニヤルト云フ趣意ニ於テ、暫ク原案ニ贊成スルモノデアリマス

○宮古啓三郎君 私ハ第一條ノ二項ニ關シテ質問致シマス、今花井君カラ是モ餘リ其イコトデナカッタデアルト云フ話ガアッテ、ツレニ付テ代用監獄ト云フモノヲ、警察官署ノ留置場ヲ以テ充テルト云フコトニシナケレバナラヌ必要ガ何處ニアルカ、ツレト之ニ依ッテ見ルト、一日マデハ代用監獄ヲ使用シテ宜シイト云フコトニナル、隨分是マデ警察官署ノ留置場ガ甚シキ弊害ガアッテ、時ニ依ルト非常ニ虐待ヲシタリシテ弊害ノアルト云フコトハ、吾々ノ耳ニシテ居ルトコロデアリマス、此規定ニ據ルト明カニ一箇月以内ノコロデアハ、之ヲ代用監獄トシテ使用シテ差支ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアルト、非常ニ弊害ガアリハシナイカト云フコトヲ恐レマスガ、當局者ノ御考ハサウ云フ弊害ハナイト云フ御考デスカ、或ハ弊害ガアッテ已ムヲ得ナイト云フ御趣意デスカ、其邊ヲ御尋致シマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 成程幾分ノ弊害ヲモ認メナイトハ申上兼ネマスルガ、元來ハ現行ノ監獄規則デアルト、留置場ハ土台監獄ニナッテ居ッテ、ツレヲ代用監獄ト致シマシテ、一步進メタ積リデアリマス、サウシテ此如何ニモ總テ監獄ノ拘留監獄ニ拘留スルコトニ致シマスレバ宜シイデアリマス、ケレドモ如何セシヤウ致シマスルト監獄ノ數ヲ非常ニ増サナケレバナラヌ、現ニ留置場ニ留置シテ居リマスノガ、數ハ能ク覺エマセヌガ、監獄所在地以外ノ所ニ八九十箇所アリマス、ツレデゴザイマスカ、今チヨット監獄出張所ニスルト云ッテモ、出張所トスルト別ニツレダケノ官吏ヲ置カケレバナラヌ、警察署デゴザイマスカ、巡查ガ他ノ事務ト兼ネテ交代ヤッテ居リマス、固ヨリ監獄ハ晝夜デゴザイマスカ、一人ノタメニモ二人モ三人モ使ハシナラヌコトガアリマス、ツレデ已ムヲ得ザルコトヲチナルノデアリマス

○宮古啓三郎君 弊害ノ點ハ如何デス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 成ルベク留置場ハ將來ニ於キマシテモ監獄トシテ用井ナイ方針ヲ採リ積リデアリマス、併シ今政府委員カラ御答致シマシタ通り、實際區裁判所所在地ニ於テ刑事ヲ扱フ場合ニ、其置キ場所ニ一々監獄ヲ設ケルコトハ出來ナイノデアリマシテ、已ムヲ得ズ所在地ノ警察ヲ之ニ代用スル場合モ生ズルノデアリマス、弊害ハドウモ留置場ノコトデアリマスカラ、設備モ不完全デアリマスルシ、監獄ノ如ク十分ニ取締モ附カヌコトモアリ易イデアッテ、其弊害ハ代用スル以上ハ努メテ防グ考テ居リマスカラ、實際已ムヲ得ズシテ之ヲ用井ルノデアリマシテ、其場合ハ先ヅ成ルベク制限スル考デアリマス

○望月長夫君 今花井君カラノ辯護論モアリマシタガ、要スルニ監獄ニ對スル將來ハ、懲役禁錮拘留ト云フ、刑法ニ所謂監獄ナルモノト、其以前ノ拘留場ナドハ將來成ルベク速ニ別ノモノニスル考デアルノデスカ、ヤハリ是ハ現在ノ通りテ差支ナイト云フコトデ、第一條ニ原則ヲ定メタラ此儘デヤッテ宜シイト云フ御考デアリマス

○政府委員(小山溫君) 先ニ御答致シマシタ通り、監獄ハ自由刑ノ執行所ヲ名付ケルトコロデアリマス、自由刑デアリマシテ、監獄ニ入レテ差支ナイモノト考ヘテ居リマス

○望月長夫君 モウ一ツ外ノコトヲ御尋致シマス、二項ニ「一時」ト云フコトガアリマス、其定義ハドウ云フノデスカ、二十二條ニモアリマスガ、ツレトハ意味ガ違フヤウニ思ハレマスカラ御尋致シマス

○政府委員(小山溫君) 御答致シマス、拘留監ニハ原則トシテ刑事被告人ト死刑ノ言渡ヲ受ケタ者ト拘禁致シマス、所ガ言渡ガ確定スルト即刻置ケナイト云フコトガ出來ルト困ル、一時護送ノ都合ノためニ留メテ置ケト云フ意味デアリマス

○望月長夫君 其「一時」ト云フ字ハ至極「一トキ」デナイコトハ明瞭デアラウト思フ、第三項ノ如クニ或制限ヲ付ケテ、一月以上ハイケンイトカ云フコトガ書イテアレバ、誠ニ明瞭デアリマスガ、此一時ト云フ字ガ甚ダ法律ノ用語トシテ不確定ナ文字ト思フ、從來當分ト云フ文字ガ屢用井ラレテ、當分ト云フ字ガ事實永久ノ意味ニ用井ラレタコトガ度々アル、ソレデ此處ニ一時ト云フ字ガ今御説明ニナリマシタ如クニ、唯一ツノ文書ヲ往復スル間トカ、一ツノ宿所ニ到達スル時間ト云フ意義ニ、此一時ト云フ文字ハ解釋ハ出來ヌト思フ、一月モ一時ト云ヘバ一時、一年モ一時ト云ヘバ一時、マダ監獄ノ設備ガ出來マセヌトカ、何デモ一時、是ハ懲役禁錮ニ處セラレタル人カラ見タナラバ、無論恩典ト思フカラ苦情ハ言フマイガ、ソレト反對ニ、同居若クハ隣合セシメラル、他ノ通常拘留監ニ居ルベキモノカラ見レバ、隨分迷惑スル、親シク拘禁ト云フ字ガズト書レテ、此一時ト云フ字ガドレダケノ延長ヲ意味スル文字カ、法律ノ用語トシテハ不確實ナ面白クナイ文字ト思ヒマス、ヤハリ一定ノ意義ガアリマスカ

○政府委員(小山溫君) 前ニ申シマシタ通りデアリマスガ、却テ時ヲ書キマス、ソレダケ留メテ置ケト云フコトデ、長クナル恐れガアリマスカラ、却テ是ハ一時ノコトデアル、斯ウニ云フ意義ヲ現ハシタ積リデアリマス

○花井卓藏君 一時間ト云フ意味ナシデスカ
○政府委員(小山溫君) 一時間ト云フノデアリマセヌ
○花井卓藏君 俗ニ云フ「チョット」ト云フ意味ナシデスカ
○政府委員(小山溫君) 「チョット」ト云フ意味デス
○花井卓藏君 一時置ケト之ニ無論背ク譯ニナル、ソレデスカラ時間ノ規定デハナイト思ヒマスガ、サウデアリマセヌカ

○政府委員(小山溫君) 一時間デアアリマセヌデ、假リニ「チョット」ト云フ意味デアリマス
○磯部四郎君 本條ニ付テハ別段議論ハナイヤデアリマスカラ……
○委員長(谷澤龍藏君) 修正デアリマセヌカ
○委員長(谷澤龍藏君) 呼フ者アリ

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ本條ハ原案ニ決シマス、第二條
○花井卓藏君 第二條ノ一番最後ノ所ニ面白クナイ字ガアリマス「心身發育ノ狀況ニ因リ必要ト認ムル者ハ前二項ノ適用ニ付キ年齡ニ拘ハラサルコトヲ得」ト云フ字ガ面白クアリマセヌケレドモ、名案ガゴザイマセヌカラ、唯惡ルイト云フコトダケ申シテ置キマス

○委員長(谷澤龍藏君) 第二條、原案ノ通り可決致シマス——第三條
○委員長(谷澤龍藏君) 呼フ者アリ

○委員長(谷澤龍藏君) 第四條
○宮古啓三郎君 チョット伺ヒマス、「主務大臣ハ少ナクトモ二年毎ニ一回官吏ヲシテ監獄ヲ巡閱セシム」此二年毎ト定メタノハドウ云フ譯デス、一年ニ一回位出來サウニ

思ヘル
○政府委員(小山溫君) 一年、至極結構デアリマスガ、今日ノ官吏ノ數、今日ノ費用デ、二年毎ト云フノハカツノコトデアリマス
○委員長(谷澤龍藏君) 御異議ハアリマセヌカ
○委員長(谷澤龍藏君) 呼フ者アリ

○委員長(谷澤龍藏君) 原案ノ通りニ可決致シマス——第五條——御異議ハゴザイマセヌカ
○花井卓藏君 其他正當ノ理由「ト云フ説明ヲ御示シテ願ヒタイ、監獄ノ參觀ニハ隨分弊害ガアツテ、觀ニ行ツデモ典獄ガ小言ヲ言フ所ナドガアル

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 正當ノ理由ト申シマスルノハ、サウ窮屈ニ必シモ監獄ノ參觀ヲ拒絕スルト云フノデアリマセヌ、學術研究ノ外ニ職業ノ關係ガアツテ行ク者ガアルト云フヤウナ、正當ノ理由モアラウト思ヒマス、若クハ又例ヘバ新聞記者ナドガ、何カ社會的ノ事情ヲ研究スルト云フヤウナ必要モアラウト思ヒマス、一々此處ニ舉グルコトハ困難デアリマスガ、少クモ其外ノ理由モアルコトヲ豫想致シマシテ……
○花井卓藏君 既ニ御決議ニナツタ條項デアリマスケレドモ、第四條ニ刑事檢事ノ監獄巡視ノ規定ガアリマスガ、辯護士ハ何故第四條ノ中ニ這入ラズニ、第五條ノ中ニ下グラレタノデゴザイマセヌカ、並ニ各國ノ立法例デハ辯護士モ同シヤウナ趣意ニ於テ、監獄巡視ノ權能ガアル如キ類似ノ法律モアルカヤウニ承ツテ居ルヤデアリマスガ、サウ云フ例ガアレバ示シテ戴キタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 辯護士ナドト云フ職務ハ、無論監獄ト直接ノ關係モアルモノデアリマシテ、正當ノ理由ノ中ニハ無論這入ルコトモ出來ルノデ、外國ナドノ例ニ依ツテ見マスルト、辯護士トシテ特別ニ規定シテアルノハ見受ケナイノデアリマスケレドモ、監獄ノ監督委員ト云フヤウナ組織ガアリマシテ、其委員ノ中ニハ、必ズ辯護士ガ這入ツテ居リマス、其委員ニナリマスレバ、職權上監獄ヲ巡視スルコトガ出來ルコトニナルデアリマス、日本デハ、監督機關トシテサウ云フ別段ノ設備モナイノデアリマス、若シ辯護士ノ職務ヲ持ツテ居ル人ガ、監獄ヲ見ル場合ニハ第五條ニ依ツテ參觀ヲ許スコトガ出來ルデアラウト思ヒマス

○花井卓藏君 權利トシテ刑事檢事ト同シヤウニ巡視スルコトハ出來ナイノデスカ
○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 監獄ヲ詣リ巡視スルコト云フ職權ハナイノデアリマスカラ、職權上見ルト云フコトハナカラウト思ヒマス
○花井卓藏君 少ナクトモ、判事も監獄ヲ巡視スル職權ハナイノデアリマス
構成法ニハナイヤデアリマス

○政府委員(小山溫君) 成程檢事ハ刑ノ執行ヲ監視スル——檢事モ刑ノ執行ノミヲ監視スル、ソレカラ判事ヲ此處ニ入レマシタノハ、判事ハ自己ノ裁判ヲシマスル上ニ於テ、一切ノ舉動ガドウ行ハレテ居ルカ、言語ガドウ行ハレテ居ルカト云フコトヲ知ラヌデ、裁判ヲ言渡スノハ不都合デアリマスカラ、巡視スルコトヲ得ト云フ規定ヲ置キマシテ、度々巡視スルヤウニシタイ、斯ウニ云フ意味デアリマス

○花井卓藏君 監視權ガアルト云フコトデヤナイノデスカ
第五類第三十四號 監獄法案外四件委員會議錄 第四回 明治四十一年三月五日

○政府委員(小山溫君) サウチヤアリマセヌ
○小河源一君 唯今ノ政府委員ノ御説明ノ通りニスルナラバ、ヤハリ辯護士モ辯護ヲスル上ニ於テ、監獄内ノ有様ヲ知ラヌデハ、判事ト同様差支ヘマスカラ、ヤハリ辯護士モ入レテ宜カラウト思フ、殊ニ貴衆兩院議員モ入レテ宜カラウヤウニ思ヒマセヌガ、是ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 判事檢事ト申シマスモノハ、詰リ前ニ書イテアリマス主務大臣ノ管轄ノ下ニ居リマスカラ、ソレニ巡視サスル、斯ウ云フ意義デ書キマシタ、管轄以外ノモノハ此處ニ書キマセヌ

○小河源一君 貴衆兩院議員ハ主務大臣ノ管轄ノ下ニ居ラヌカラ、除ケタノデスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 檢事ノ方ハ當然デスカ、判事ノ方ハ見ル方ガ宜イト云フ位ノ意味デ書キマシタ、別ニ監獄則ノ此點ヲ改メタノデハゴザイマセヌ

○花井卓藏君 サウ云フ御答ガ出レバ問ハザルヲ得ナイ、檢事ハ監獄ノ監視權ガアルカラ、第四條ノ規定ヲ待タヌデモ、裁判所構成法ニモ立派ナ條文ガアル

○政府委員(小河滋次郎君) ソレハ執行方法デス

○花井卓藏君 裁判所構成法モサウデセウ

○委員長(谷澤龍藏君) 第五條ハ異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 第五條ハ原案通り決シマス、第六條

○阿部徳三郎君 第六條ノ「監獄慈惠ノ用ニ充ツ」トアル慈惠ト云フコトノ例ヲ舉ゲテ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(小山溫君) 例ヘバ夏單衣一枚ヲ這入ッテ來ルモノガアリマシテ、ソレガ六箇月ノ刑ヲ受ケマス丁度冬出ルヤウニナリマス、其時ニ單衣ノミデ慄ヘサセテ出スト直チニ又泥棒ヲ勤キマス、サウ云フモノニ縛入ヲ買ッテヤルト云フヤウナ一例、又ハ死體ヲ埋葬致スニ付テ、讀經サスルノ類デアリマス

○花井卓藏君 監獄則ノ條文ノトコロデアリマスガ、是ハ現行監獄則ト本法案トノ著シキ條項ノ變化デアルカラ、問ハザルヲ得ナイ「本法ニ依リ没入シ又ハ國庫ニ歸屬シタル物ハ之ヲ監獄慈惠ノ用ニ充ツ」トアル此根本ノ意味ヲ成ストコロノ條文ハ二十七條デセウト思フ、二十七條ハ少クモ重ナル法文デアラウト思フ、現行監獄則デハ作業ニ依ッテ得タル工錢ト云フモノハ、囚人自身ノ所得ト規定セラレタル、所ガ六條ヲ設ケラレタル——六條ノ必要ヲ感ゼラレタル基本ノ規定タル二十七條ニ依ッテ見マス「作業ノ收入ハ國庫ニ歸屬スル」ト云フノデ、今迄ノ法ト主義ヲ改メラレタル理由ヲ承ハリタイ、又其説明ヲナサルコトガ必要デラウト思ヒマス

○政府委員(小山溫君) 此第六條ニ對スル御質問デアリマスガ、六條ハサウ云フ意味ハ有テ居マセヌ、六條ハ作業收入トハ關係ガゴザイマセヌ、是ハ却テ五十二條五十四條ヲ重ニ指シマス、サウシテ是ハ現行法ト餘リ變タコトハナイ御指シニナリマシタ二十七條ハ此中ニハ這入リマセヌ、ソレダケ此處デハ御答致シテ置キマス

○花井卓藏君 イヤ、私ハ二十七條ノ問ヲシテ居ルノデアル

○政府委員(小山溫君) 六條ニハ這入リマセヌ、引續イテ二十七條ヲ改メタル理由ヲ

申シマス、第二十七條ニハ六條ニ依ッテ監獄ノ用ニ充テルコトハ出來マセヌ

○花井卓藏君 分リマシタ、分リマシタ

○委員長(谷澤龍藏君) 六條ハドウデス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六條ハ原案ニ決シマス、第七條

○望月長夫君 七條ニ「在監者監獄ノ處置ニ對シ不服アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ巡閱官吏ニ情願ヲ爲スコトヲ得」トアツテ、四條ト區別シテ書カレテアリマスガ、サウスルト七條デ在監者ハ何事モ主務大臣ガ、一年ニ一回巡閱セシムルトコロノ巡閱官吏ニ限ッテ、情願ヲ爲スコトヲ得ルヤウデアルガ、果シテサウデアリマセウカ、若シ左様ニ致シマシタナレバ、御承知ノ通り幾ラ主務大臣、或ハ司法省ノ御役人ノ監督ガ行居イテモ、監獄内ハ殆ド別世界デ、此中ニ居ル者ハ主務大臣ニ情願ヲ爲スコトヲ得ト云フコトハ殆ド不可能デ、巡閱ヲシマセウトモ、事實ニ於テ殆ド不可能デアル、サウスルト二年ニ一度シカ出テ來ナイ巡閱官吏ニシカ一切請願ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスレバ、殆ドドウモ在監者ハ監獄署ノ處置ニ對シテ不服ガアツテモ、情願ヲ爲ス機會ヲ與ヘナイト同様ニ思ハレマス、殊ニ監獄則ニ依ッテ見マスルト「司法大臣ハ隨時監獄巡閱官ヲシテ各監獄ヲ巡閱セシムヘシ警視總監北海道長官府縣知事」トアツテ、次ニ「裁判官次ニ檢察官」トアリ、此總テノ者ニ向ッテ——第五十條ニ於テ四條ニ記載シタル官吏ノ全部ニ向ッテ情願ガ出來ルヤウデアル、所ガ今度ハ殆ド事實ニ於テ情願ヲ爲スコトガ出來ナイ、主務大臣又ハ二年ニ一度シカ來ナイ巡閱官吏ニ限リテヨリ情願ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニ極メラレタル趣意ハ如何デゴザイマセウ、私共ノ考デハ單ニ法文ノミ立派ニ出來テモ、其實質ノ舉ルト否トハ別デアル、然ルニ今度ノ監獄則ハ法文ノ餘程立派ニ書カレタガ、其實行ヲ保障スルトコロノ方法ニ至ッテハ、却テ前ノヨリ缺略サレテ居リハセナイカ、殊ニ七條ニ付テ疑ヲ持ツ、此趣意ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 唯今ノ監獄則ト仰シヤルノハドレデゴザイマスカ存マセヌガ、是ハ變ッテ居マセヌ、現行監獄則ノ四條ニ「主務大臣ハ隨時監獄巡閱官ヲシテ各監獄ヲ巡閱セシムヘシ裁判官ハ時々其裁判所管轄内ニ在ル拘留監ヲ巡視スヘシ檢察官ハ時々其裁判所管轄内ニ在ル監獄ヲ巡視スヘシ」斯ウナッテ居マシテ、五十條ノ「第四條ニ記載シタル官吏巡閱ノ際封書又ハ口述ヲ以テ申告スルコトヲ得」斯ウナッテ居マシテ、詰リ此現行則ヲ見マスルト、監獄巡閱官ノミニ訴ヘルコトガ出來ルヤウニナッテ居マス、ソレデ別ニ狹クシタノデハナク、却テ殖ニマシタ答デアリマス、サウシテ此前ノ四條ニ主務大臣ガ巡閱セシムルコトヲ法律ニ書イタト云フコトハ、一體行政ノ監督上ノコトデアルカラ、法律ニ書クノハ如何ト云フ非難サヘアリマシタガ、此情願權ヲ確保スルメニ行政監督ノ方法デゴザイマスル巡閱ト云フコトヲ、法律ノ中ニ書キマシテ、却テ現今ヨリハ情願權ト云フモノヲ確保シタ積リデアリマス

○阿部徳三郎君 チョット御尋ヲ致シマス、此第七條ハ監獄ノ處置ニ對シテ不服アルトキ云々ト云フコトデアルカラ、監獄ノ處置以外ニ付テ不服アルトキハ情願ガ出來ナイコトニナッテ居リマス、所ガ監獄ノ處置以外ニ於テ隨分被告人ガ困ッテ居ルコトガアル、或ハ滯獄日數ガ甚シク長イト云フ場合ニ、ドウモ取調ガ緩慢デアルカラ、早ク取調ベテ貴

ヒタイト云フヤウナコトヲ情願ヲシタイコトガアル、是ハ屢アルコトデア、併ナガラス様ナ場合ハ監獄ノ處置ニ對スル不服ト云フコトハ出來ナイ、取調緩漫ト云フコトニ付テ不服ガアルノデア、サウ云フ場合ニハ情願ヲスルコトハ出來ナイト云フコトニナルノデアリマルカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 御尤ナ御尋デゴザイマスガ、是ハ監獄法デゴザイマシテ、監獄官吏ノ遵守スベキ、並ニ監獄ヘ這入リマシテ者ガ守ラナケレバナヌコトヲ規定シテ置キマシタノデ、ソレデ此ノ情願ト云フデケハ、ヤハリ此監獄法ガ行ハレト云フコトヲ確保スルノデアリマシテ、是ハドウシテモ監獄ノ處置トシナケレバナリマセヌ、其他ハ刑事被告人ガ取調ガ長引クトカ、ソレカラ既決囚デ云ヘバ刑ノ執行ト云フコトニ對シテ苦情ガアル、刑ノ執行ニ就テハ御承知ノ通り刑事訴訟法ニ於テ其途ガ立ッテ居リマス、ソレカラ刑事被告人ハヤハリ裁判所側ノコトデ、是ハ裁判所ニ訴ヘルナリドウナリ致スノデ、此處ニ規定致シマスノハ穩デナイト心得テ、ヤハリ監獄ノ處置デケニ限リマシタ

○阿部徳三郎君 サウスルト若シサウ云フコトニ付テ不服アル場合ニ於テハ、在監人デアデモ、或ハ檢察長ヘ書面ヲ出ストカ、控訴院長ニ書面ヲ出ストカ、主務大臣ニ出ストカ云フコトヲ禁止スル御趣意デハアリマセヌカ

○政府委員(小山溫君) サウデハゴザイマセヌ、サウ云フモノハ却テドシク取次イデ、取捨ヲシナイコトニナッテ居リマス

○小河源一君 先刻ノ御説明デハ、此第四條ハ主務大臣ハ少クモ二年毎ニ一回官吏ヲシテ監獄ヲ巡閱セシムルコト云フコトヲ、此法律ニ書クノハ少シ如何ハシイト思ッダケレドモ、在監人ガ監獄ノ處置ニ付テ不服ヲ訴ヘル途ヲ開クガタメニ、此處ニ書イタト云フ御説明ガアリマシタ、其點ニ付テハヤハリ在監人ノ不服ヲ訴ヘル途ヲ開クコトニ注意セラレタモノ、如クアリマス、ソコマデニ在監人ヲ大切ニ思ハレ、不憚ニ思ハレテ拵ヘタナラバ、此第七條ノ獨リ巡閱官吏ノミニ限ラズ、所謂巡視スル官吏ニ向ッテモ、不服アルトキハ訴ヘルコトヲ許シテモ宜イヤウニ考ヘラレル、之ヲ許サナイト云フノハ、如何ナル御趣意デアリマスカ

○政府委員(小山溫君) 詰リ監督權ノ作用デ云ヒマス、直チニドウスルコトモ出來ナイ人間デナク、却テ指圖ヲスルコトノ出來ル人間ニ致シマシテ、直チニ判斷ヲスルト云フデケノ情願ヲスルノデゴザイマス

○小河源一郎君 判事檢察事ガ直ニ司獄官ヲ監督スル權利ガ無イトシテモ、此者ニ不服アルトキニ訴ヘルナラバ、此等ノ者ハ監獄官吏ニ向ッテ或ハ協議ヲシ、或ハ相談ヲシ、若クハ事ニ依ッテナラバ、己モ上長官ニ事情ヲ訴ヘテ、在監人ノ不服ノ尤モナルコトヲ訴ヘタナラバ、甚シキ不都合ナ取扱ハ救済スルコトガ出來ヤウカト思ハレル、當ニ監督權ガ有ルトカ無イトカ云フ分界ヲスルヤウナ法律デハナイト思フ、唯在監人ヲシテ甚シキ不法ニ苦シマシメヌコトニ努メルノガ、即チ法律ノ善美ナル所以デアラウト思フ

○政府委員(小山溫君) ソレモ一説デゴザイマスガ、ヤハリ監督系統ニ從ヒマセヌト、規律ノ上ニ於テ都合ガ惡ルカラウト思ヒマス

○磯部四郎君 小河君ノ御意見ハ至極御尤モデゴザイマスガ、詰リ訴ノ効果ノアルヤウニシテ置カヌケレバ、空文ヲ置イテハイカヌト云フノ限ラレアルノデハナラウカト考ヘ

ル、ソレハ成程判事檢察事ト云フトコロニ苦情ヲ訴ヘタトコロガ、其タメニ巡閱スルノデナクシテ、唯自分々々ノ事件取扱上ニ於テ大ニ参照スルコトコガアルカラデア、ソレデ廻ル人ニ持ッテ行ッテ、却テ訴ヲスルト、ソレハ開流シマスルト云フコトデハ、利益無ウシテ誠ニ在監者ヲ欺スヤウナ有様デアルカラ、ヤハリ能ハ監獄ノ處置ニ付テ眞實巡閱スル人ニ言ヘバ、多少ノ効果ヲ期スルコトガ出來ルト云フヤウナ趣意カラ、此七條ハ限ラレアルモノト讀ンデ居ッダガ、サウ云フ次第デアリマセウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 唯今磯部サンノ仰シヤルヤウナ趣意ニ全ク出デ居ルノデアリマス

○花井卓藏君 唯今私ハ六條ニ付テ質問ヲ致シマシタガ、少シ前ノ方デハ法典調査會ノコトヲ夢ニ見テ居ッテ間違ッタデアリマスガ、併シヤハリ是ニ於テ開カナケレバナラヌ問題ガアル、第六條ノ規定ハ監獄法ニ依ッテ没入セラレ、監獄法ニ依ッテ國庫ニ歸屬シタル物ノ用途ヲ規定シタル規定デア、總論ヲ以テソレヲ定メタルデア、而シテ此各論ハ小山君ノ示サレタ條文ニ皆存在シテ居ル、小山君ノ示サレタ各論ヲ運用スルタメニ六條ノ總論ガ出來タノデア、然ラバ私ガ問ヲ起シタ、二十七條ノ作業ノ收入ト云フモノガ、國庫ノ所得トナルト云フ、此各論ノ規定ヲ運用スルタメニ、扱テ國庫ノ所得トナッタモノデ、而シテ作業賞與金ヲ給シタ上デ、結局餘リタモノハ如何ニ處分スルカト云フコトハ、無論總則ノ上ニ規定シナケレバ釣合ガ惡イト考ヘル、其様ニ曾アノ案ニアツダカラシテ、ツイ其意味ヲ問ウタノデア、ソレヲ總論ノ方ニハ其分ノ始末ガ一切知ラザル眞似シテ、各論ノ上ニ獨立サレルナラバ、六條ハヤマ小山君ノ示サレタコロノ條文ニ、二項カ三項ヲ加ヘテ然ルベキモノト思ヒマス、ソレハドウ云フ譯デゴザイマスガ、總論ノ總則ト云フ文字ノ面目ヲ保ツタメニ質問ヲスルノデアリマス

○政府委員(小山溫君) 詰リ六條ヲナゼ置イタカト云フ御質問ト思ヒマスガ、此處ヘ置キマシタノハ、丁度是等ノ處置ニ對シテモ情願ヲ爲スコトガ出來ルト云フノガ、順序ガ宜イト云フコトデ此處ニ入レタ、ソレカラ作業收入ノ方ハ全ク別デアリマシテ、專ラアレニ限ラナイノデアリマス

○花井卓藏君 イ、エ、私ノ問フノハソレヲモ總論ニ用途ヲ示シテ、餘リタコロノ用途ヲ示シテ置ク必要ガアルデアラウト思フ

○政府委員(小山溫君) 現今ニ於テハ百三四十萬圓アリマスガ、是ハ國庫ノ歲入トナッテ居ッテ、一般會計ニ屬スルモノデアリマスカラ、此處ニハ書キマセヌ、ソレカラ先刻阿部君カノ御尋ニ御答致シタノヲ補ッテ置キマスガ、詰リ滞獄日數ノ多クナルコトナドニ付テハ、外ノ法律ニモアルト思ヒマスガ、一ハ刑事訴訟法、一ハ裁判所構成法ノ百四十條ニ——前略致シマスガ「取扱ノ延滞若クハ拒絕ニ對スル抗告ハ此ノ編ニ掲ゲタル司法行政ノ職務及監督權ニ依リ之ヲ處分ス」トナッテ居ッテ、抗告ガ出來ルヤウニナッテ居リマス

○望月長夫君 是ハ何處カデ聽カナケレバナラヌデアリマスガ、第六條ニ「本法ニ依リ没入シ又ハ國庫ニ歸屬シタル物ハ之ヲ監獄慈惠ノ用ニ充ツ」トアルノハ、是ハ詰リ總則デア、所ガ五十七條ナドニモ「國庫ニ歸屬ス」トアル、此國庫ニ歸屬スト云フ言葉ハ、換言スレバ國庫ノ所得トスト云フ言葉ト、法律上ノ意味ニ於テ寸毫ノ差異ハ

ナイト思フ、若シソレが果シテ同意味ノ字アルトスレバ、二十七條ヲ「作業ノ收入ハ總テ國庫ニ歸屬ス」ト書イテモ、法律上ノ意味ニ於テ國庫ノ所得トナルト云フコトハ差異ガナカラウト思フ、然ルニ之ヲ別々ニシテ、所得ト歸屬トハ別々或ハ第二十七條ハ第六條ニ入ラヌト云フノアルカ、此法文ノ書キ方ハドウ解釋シテ居ラレルノアルカ伺ヒタイ

○花井卓藏君 尙私ハ誤解ノヤウニ思ハレルト往ケナイカラ正シテ置キマスガ、六條ノ曾テノ案ニ於テモ、二十七條ニハ一向因縁ヲ持ッテ居ラヌト云フ小山君ノ御説明デアリマシタガ、作業賞與金ノ計算高ノ利益ト云フコトハ、六條ノ規定ノ上ニアッタコトハ間違ナ

○政府委員(小山溫君) 此没入モ、歸屬モ、所得モ、皆國庫ノ所有ニ歸スルノデハナイカ、同ジモノデハナイカト云フ御尋ハ、一應御尤ノヤウニ考ヘマス、所有ニ歸スルニ相連アリマセヌガ、此處ニ没入ト云フコトハ、國庫歸屬ト云フコトヲ明カニ書イテ置ケバ、所得ト云フコトマデ含マナイト云フ積リデアリマス、詰リ民法ナドニモ國庫歸屬ト云フ言葉ガ、澤山使ッテアリマスガ、一體國ガ物ヲ買ツテモ、國庫ニ歸屬スルコトナリマス、併ナガラ廣ク使ヘバ買ツタ物ノ所有權ハ即時ニ取得スルカラ、國庫ニ歸屬スル、ケレドモソレヲ區別スルノデ、國庫歸屬ト云フノハ何等ノ契約ナルモノガ無クシテ、國ニ入ッテ來ル、没入ト云フ言葉ハ賣藥規則ノ中ニアッタ思ヒマスガ、没入ト云フ一ツノ手續ヲシテ國庫ニ入ル、斯ウ云フ風ニ區別シテ用井ラレテ居リマスカラ、廣ク見レバ入ラヌコトハアリマセヌガ、文字ヲ書別ケテ置ケバ其疑ハ避ケ得ラレト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ花井君ノ御質問ノ作業ノ賞與金ヨリ生ズル利益、是ハイロ／＼ニ考ヘテ見マシタケレドモ、其利益ヲ詰リ監獄ノ方ヘ極ク俗ナ言葉申セバ、取りヤウガナイノデ、今度ハ入ッテ居リマセヌ

○花井卓藏君 尙御尋シマスガ、法律ノ力ニ依ッテ没入シタルモノ、法律ノ力デ國庫ニ歸屬シタルモノ、ソレヲ法律デ以テ用途ヲ極メルト云フ事柄ハ、現行法ノ二十四條ニ書イテアリマスケレドモ、憲法及會計法ノ意義ノ上ニ於テ、寸毫ノ微ト雖モ、苟モ國ニ歸屬シタル、國ニ没入シタルモノニ對シ、憲法會計法ノ外ニ立ッテ、特殊ノ法律ガ用途ヲ極メルト云フコトハ差支ナイノデアアルカ、私ニハ能ク分リマセヌカラ御尋シマス

○政府委員(小山溫君) 憲法及會計法ニ云々ト言ハレルノハ、實行ノコトヲ御尋ニナルノ思ヒマスガ、現行法ニ於テモ此二十四條ニアルノデスガ、是ハ現行法ノ通行行フ積リデアリマス、即チ現行法ニモヤハリ監獄慈惠ノ用ニ充テラルマシマスガ、國家ノ歳入ヲ其儘慈惠ニ使ッテシマフノデハナクシテ、ヤハリ豫算ニ上ッテ、一方ニハ歳入トシテ入り、一方ニハ歳出トシテ出ルコトニナッテ居リマス、サウスレバ會計法ニモ背キマセヌシ、憲法ニモ背カヌコトニナリマス

○花井卓藏君 其御答辯ノ趣意ニ第六條ハ讀メノデアリマスガ、斯ウ書イテアッテ、一般會計ニ組込シテ、監獄慈惠ト云フ目ノ用途ニ充テラルノデアルト云フ意味ニ讀メマスカ、何ンデカ本法テ特殊ノ會計法ヲ規定シタカノヤウニ思ハレマスガ、サウデナイノデスカ

○政府委員(小山溫君) 此法律ニソレガアレバ、極クアラホク申シマス、歳出ニ慈惠費ガ取レルノデス

○望月長夫君 マダ分リマセヌカラモウ一度伺ヒマス、國庫ノ所得トスト云フ場合ニ

ハ、大抵契約カ何カアルトキデアッテ、國庫ニ歸屬スト云フトキニハ、法律ノ結果デ只取ル、斯ウ云フ風ノ御説明ガ先アッテヤウニ聽エマスガ、現ニ此二十六條ナドテ刑事被告人デ仕事スル義務ノ無イヤツガ仕事ヲシタ、ソレヲ第二十七條テ單ニ此法律ノ結果デ、總テ國庫ノ所得トスト云フ外、國ノタメニ仕事スル義務ノナイ者ガ、工錢ヲ得ベキ仕事ヲシテ、之ヲ國ノ所得トスト云フコトハ、第二十七條ノ公課ノ外ニ工錢ヲ國ノ所得ニ取上ゲテ來ルト云フ法律ハ無イト思フ、サウシテ見ルト自由工作ヲ請願スルトコロノ未決拘留——刑事被告人ト國ノ契約ガアルカト云ヘバ、此間ニ契約ノ關係ハナイ、二十六條ニ二十七條ノ法律ノ作用ニ依ッテ、國ニ或勞務ヲ供給スベキ義務ノナキモノガ、勞務ヲ爲シテ、ソレニ依ッテ得タル工錢ヲ、此法律ニ依ッテ國ノ所得ニスルト云フコトニナルノデアアルカラ、他ノ場所ニ於ケル國庫ニ歸屬スト云フ字ト、此ノ如キ場合ニ於ケル國庫ノ所得トスト云フ字ト、ドコニ區別ガアルカ、其コトガ一ツト、ソレト今一ツハ事實ニ於テモ、或ハ法律ガ仕事スルコトヲ命令シタ、所謂懲役囚ノ作業ニ依ッテ得タル工錢ト云フモノハ、第二十七條ノ如キモノヲ國庫ノ所得トストシテモ、宜イヤウデアラガ、刑事被告人ノ作業ノ義務ナキ者ガ作業シタ時分ノモノハ、恐ラク第六條ノヤウニ監獄ノ慈惠ニ供シタ方ガ宜カラウデハナイカ、國ガ義務ナキ者ノ工錢ヲ囚徒ノヤウニ取上ケルコトハ宜クアルマイデナイカ、政策ノ上カラデモ宜シキヲ得テ居ラヌデハナイカト思フ、今ノ如キ場合ニ於テ國庫ノ所得トスト云フ字ト、國庫ノ歸屬トスト云フ字ト、ドレダケ區別スル根據ガアルカ、刑事被告人ノ如ク勞役ヲ課セラレザル囚人ガ好シテ勞役ヲナス場合ニハ、之ニ給スベキ工錢ハ、ヤハリ第六條ノ如ク監獄慈惠ノ用ニ充テラル方ガ、政策上宜シキヲ得ヌモノデナイカト思ヒマス、ソレヲヤハリ此中ヘ入レナイ方ガ宜イト云フコトニナレバ、其政府ノ所見ヲ伺ッテ見タイト思フ

○政府委員(小山溫君) 私ノ先ニ申上ゲヤウガ惡ルカウタカト心得マスガ、私ノ此二十六條ノ所得ト云フノハ、手續ガ要ルカラ、國庫ノ歸屬ニナラナイト云ツタ積リデアナイ、國庫ノ歸屬ト云フコトハ、法律ガ國庫ノ歸屬ト書イテ居ル特殊ノ意味ガアルト云フコトヲ申上ゲル例トシテ申上ゲタノデ、總テ廣イ意味ニ於テ云ヘバ、國庫ノ所得ニナルモノデモ、歸屬ト云フ字ハ使ッテナイ、歸屬ト云フコトハ、法律テ特ニ歸屬ト云フ文字ガ使ッテアルト云フコトヲ申シタメニ、例ヲ申シタニ過ギナイノデ、民法等ニモ總テ斯ウ云フヤウニ書イデアリマス、態々書イテナケレバデゴザイマスガ、没入ト云フコトヲ舉ゲ、歸屬ト云フコトヲ舉ゲタナラバ、外ノ官ニ這入ルモノモ、歸屬ト書イデアアル、ボンヤリ没入ト云フコトガナク、國庫ノ歸屬ト云フコトナラバ、如何ナル方法ヲ問ハズ、國庫ニ歸屬シタルモノト云フ解釋モ附キマセウガ、舉ゲテアリマスレバ——歸屬ト、没入ト書イデアリマスレバ、ソレデ解釋ガ附クノデアラウト考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○委員長(谷澤龍藏君) 望月君ノ分ラヌト云ハレルノハ、斯ウ云フコトヲ聽イタラ分ルダラウト思フ、此本法ニ依ッテ没入スルト云フ品物ガ、例ヘバ詰ラヌ着物カ何カデアッテ、ソレヲ僅カナモノデアアルカラ没入シテシマフト云フ、法律ハ免ニ角サウ云フ意味デアアル、所得ト云フノハ儲ケタモノデアアルカラ、所謂得ト云フ意味ニナルト云フコトデアルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(小山溫君) サウデモナイデス

○政府委員(法學博士河村讓三郎君) 私ハ御參考ニ一言加ヘテ置キタイト思ヒマス、國庫ニ歸屬スト云フ言葉ハ、民法ノ用語ノヤウニ覺エテ居リマス、民法中此用語ノアリマスルトコロハ、慥カニ二箇所位シカナ、無主ノ動産、不動産ハ國庫ニ歸屬スト云フトコロ、及遺産ノ相續人ノナイ場合ニ、遺産ハ國庫ニ歸屬スト云フ所ト、二箇所シカナ、及遺産ノ相續人ノナイ場合ニ、遺産ハ國庫ニ歸屬スト云フ所ト、二箇所ノ用語ノヤウニ思ヒマス、是ハ契約ニ依ラス、法律ノ力デ自然ニ國庫ノ所有ニ歸スルモノ、用語ノヤウニ思ヒマス、國庫ニ歸屬スト云フコトヲ書ケバ、其ヤウニナル、五十七條ノ物が無主ノモノデアルト見ルカ、見ヌカト云フコトハ、相續人曠闕ノ手續ヲ爲サヌ前ニハ、疑問デアリマスガ、同條ハサウ云フ主意デ書イタモノデアルト思フ、作業——任意ニ働イタ者ノ勞役カラ生シタ收益ヲ、國庫ガ事業ヲ行ッテ得タモノト同一ニ見ルハ穩當ナラヌト云フ御説モアル、是ハ御尤ナ御説デアリマスガ、任意ニヤリマシテモ、監獄ニ於テ勞役シタモノデアルカラ、他ノ囚人ノ勞働シタ者ト、同一ニ見ルモ強チ不當デハナイト思ヒマス

○花井卓藏君 第七條ノ在監者監獄ノ處置ニ對シト云フノハ如何ナル意味デアリマスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 監獄ノ處置ト云フノハ、何カ無形ノヤウデ具合ガ惡イヤウデアリマスガ、監獄ノ官吏ノ處分法ト云フ意味ガ含マレテ居ルト云フコトデアリマス

○委員長(谷澤龍藏君) 第七條ハ原案通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス——第八條……

○花井卓藏君 「勞役場ハ當分ノ中之ヲ監獄ニ假設ス」ト斯ウ云フ修正説が出シタイノデアリマスケレドモ、司法大臣ノ説明ノ主意ガ全ク當分ノ中一時假リニ之ヲ監獄内ニ設クト云フ意味ノ説明デアッテ、近キ將來ニ於テ勞役場法ト云フモノが出来ルニ相違ナイト思ヒマスカラ、ソレデ満足シテ修正ヲシマセヌ、是ハ宿論デアリマスカラ、是ダケ申シテ置キマス

○望月長夫君 第八條デ同ジテ置キタイ、勞役場ニ留置セラレテ居ル者モ、拘留場ニ留置セラレテ居ル者モ、曩ニ私ガ一條ヲ聽イタトキノ如ク、一方ハ自由ヲ拘束スル刑ト見ル、一方ハ自由刑ト見ルト云フト、實際ノ取扱ニ於テ、ドレダケノ相違ガアリマセウカ、第八條ニ「前五條ノ規定ハ之ヲ勞役場ニ準用ス」トアッテ、第九條ノ下ノ方ヲ見ルト、懲役囚ニモ同ジ規定ガ準用セラレテ居リマス、一方ハ自由刑デアッテ、一方ハ自由刑デナイト云フノハ、實際ニ於テドレ程區別ガアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 是ハ勞役囚ハ大臣カラモ答ヘラレマシタ通り、監獄ニ置クモノデナイト心得テ居リマス、併ナガラ已ムヲ得ズ、監獄ニ附設スルコトニナリマシタ、監獄ニ附設スルコトニナレバ、監獄ノ勞役囚ト云フモノヲ別ニスルト云フコトハ、殆ド出來ナイコトデアリマス、ソレデゴザイマスカラヤハリ是モ已ムヲ得ズ外ノモノト同様ニ取扱フ、斯ウ云フコトニナリマシテ、此拘留ノ方ガ惡イノデハナクテ、勞役場ヲ監獄ニ入レテ置クノハ、一體宜シイコトデハナイノデ、ソレデ斯ウ云フコトニナリマス、別ニ留置ノ言渡ヲ受ケタルモノヲ、建物モ違ヘ、處分モ違ヘ、一切別ニスルコトが出来レバ、監獄ニ置イテ置ク必要

ガナイノデコザイマス

○委員長(谷澤龍藏君) 原案通りデ宜シウゴザイマス——原案ニ決シマス、第七條異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 第十條、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○望月長夫君 ドウデセウ、今日ハ三時間ノベツニ働イタノデスガ、モウ一度御開キニナッテハ……

○磯部四郎君 ソレデハ明日續イテヤラレマセヌカ

(「明日」ト呼ビ「明後日」ト呼フ者アリ)

○磯部四郎君 是ハ大變私ノタメニナルコトガアリマスカラ、努メテ此委員會ニハ出席シタイノデアリマスガ、然ルニドウ致シマシテモ明後日ニナリマス云フト、誠ニ遺憾ナガラ出ルコトモ出來マセヌカラ、御縁合セガ付クナラバ、私ニ學問サセル思召ヲ以テ、明日ドウカ委員諸君ノ御會同ヲ願ヒタイ、ドウカ私ノ情願ヲ御聞キアッテ……

(「明日午後二時」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ明日午後二時カラ開キマス、本日ハ是デ散會シマス
午後三時五十五分散會

明治四十一年三月五日印刷

明治四十一年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局